

水泳

水

63

日本水上競技聯盟機關雜誌



N. S. R.

水 泳

No. 63

— 1939, 3. —

目 次

體育の義務と體育の生活化……………日本水上聯盟會長 末弘嚴太郎…(2)
男子競泳日本最高記録(昭和十四年一月一日現在)……………(3)
女子競泳日本最高記録(同 上)……………(4)
昭和十三年日本選手權競技の豫想……………小山賢之助…(5)
日本學生水上競技大會飛込競技觀戰記…高橋庄之助…(13)
水球座談會……………(15)
比律賓遠征日記……………(日本大學水泳部)……………(23)
最近海外水泳ニュース……………(ハンドレー週刊より)……………(30)
本聯盟役員出征者通信……………(31)
水上競技聯盟臨時代議會議事録……………(32)
水上競技聯盟議事録……………(35)
水上競技聯盟日誌……………(36)

體育の義務と體育の生活化

日本水上競技聯盟會長

末 弘 巖 太 郎

どうしたら體育運動を國民總ての生活の中に織り込むことが出来るであらうか。このことを考へ之を實現すべき方途を講ずることは吾々の最も重い責任であると言はねばならない。

青年殊に學生、其中でも單に一部のものが如何に體育に熱中しやうとも、一般國民が全般的に冷淡である限り、國民體力の充實を計ることは絶対に不可能である。

國民のすべてに、自分の體は自分ひとりのものではない、體方を養つて銃後にあらうとも、それぞれ自分の受け持つてゐる仕事を十分能率よく爲し遂げ得るだけの體を作ることが國民としての義務であるといふ思想を、一般國民の間に行き亘らせることが此際何よりも大切である。

大日本青年黨の統領橋本欣五郎大佐は出征の際に「戦地に生命奉還、内地に經濟奉還」なるスローガンを残して、行かれたこのことであるが、吾々の考へでは内地も亦「生命奉還」でなければならない。

國民のすべては其の身心のすべてを皇國に捧げ來つた覺悟を以て之を大事にし各自與へられた、地位に於て十分の御奉公が出来うやう體を鍛へる義務がある。此思想を廣く全國の隅々に至るまで行き亘らせる事は、此際最も必要である。吾々は考へるのである。

我國從來の體育觀は一般に著しく個人主義的である。體育が國民の義務であると言ふ思

想が一般人の間に缺けてゐる。政府も從來は此所に於て意識甚尙だ不鮮明であり、従つて自ら積極的に計畫し施設して全國民に體育義務を課するだけの意氣込みをもつてゐなかつたが、國民亦一般にかゝる思想を有せず一般人はもとよりスポーツ愛好者の間にさへも極めて個人主義的な體育觀が行はれてゐるに過ぎない。だから好きならばやるが、嫌ならやらない、それが當然のこととして一般に考へられてゐたのである。

何もすべての國民が老若男女の區別なく戦線に立ち若くは直接戦争に關係ある仕事をす譯ではないのだから、すべての國民が直接軍事向きの體育運動をやらねばならぬと言ふ譯ではない。

無論、青年男女としては何時戦に出てもお役に立つだけの體を作つて置く義務がある。が、然し青年男女のみではない。國民のすべてが老若男女を問はずそれぞれ其與へられた地位に於て最も能率よく働き得るやうに身心を常備して置く事が國民としての最小限度の義務である。

一般に體育義務を課し、それを實行せしむる精神を以て口策を樹立し體育施設を充實せんことを希望すると同時に、吾々も亦政府と力を協はせ、體育の普及を計り特に體育教育を通して一般國民の間に體育運動生活化の運動を行き亘らせるやうに異常の努力を爲すべき義務があるものと考へて居る。

男子競泳日本最高記録

昭和十四年一月一日現在

記録()アルハ短水路

距離	時間	氏名	所屬	場所	水路(米)	昭和年月日
自由形						
50米	25.8	高橋 成夫	早大	神宮	50	9—9—16
100米	57.2	高遊 佐正	日大	神宮	50	10—9—13
200米	2:09.6	新井 茂雄	立大	神宮	50	13—8—10
300米	3:30.8	新井 茂雄	立大	甲子園	50	13—8—20
400米	4:45.2	根上 博	日大	神宮	50	10—8—10
	(4:45.0)	根上 博	立大	神宮	50	10—9—14
500米	6:09.0	天野 富勝	日大	神宮	50	13—8—10
	(6:07.2)	石原 田愿	明大	神宮	25	8—9—30
800米	9:55.8	牧野 正藤	早大	神宮	50	10—9—15
1000米	12:33.8	天野 富藏	日大	神宮	50	13—8—10
1500米	18:58.8	天野 富勝	日大	神宮	50	13—8—10
平泳						
50米	(34.6)	鶴田 義行	明大	明大	25	5—4—19
100米	1:13.0	小池 禮三	慶大	神宮	50	10—8—4
	(1:12.2)	小池 禮三	慶大	東大	25	11—4—11
200米	2:40.4	小葉 室鐵	日大	神宮	50	12—8—16
400米	(6:24.4)	鶴田 義行	日大	玉川	50	3—10—13
	(5:53.0)	小池 禮三	慶大	東大	25	11—4—11
500米	8:30.8	小池 禮三	日大	大阪	50	大正15—9—12
	(9:23.8)	小池 禮三	慶大	東大	25	11—4—11
背泳						
50米	30.8	清川 正二	東京商大	神宮	50	8—9—15
100米	1:07.2	清川 正二	日本	伯林	50	11—8—12
200米	2:31.0	吉田 喜一	早大	大濠	50	12—8—3
	(2:30.8)	兒島 泰彦	慶大	甲子園室内	25	13—4—7
400米	(5:30.4)	清川 正二	東京商大	神宮	25	8—9—30
潜水						
50米	34.0	柳瀬 勝得	横領	神宮	50	6—10—20
リレー						
200米	1:46.0	竹村 公良 志村 義久 } 阪上 安太郎 高橋 成夫 }	早大	神宮	50	10—9—15
400米	3:55.6	新井 茂雄 志村 義久 } 平野 亮 遊 佐正 憲 }	日本	神宮	50	10—8—18
800米	8:51.5	遊 佐正 憲 杉浦 重雄 } 田口 正治 新井 重雄 }	日本	伯林	50	11—8—11
メドレー・リレー						
300米	3:20.8	吉田 喜一 小池 禮三 } 遊 佐正 憲 }	日本	神宮	50	10—8—17

女子競泳日本最高記録

昭和十四年一月一日現在

記録()アルハ短水路

距離	時間	氏名	所屬	場所	水際(米)	昭和年月日
自由形						
50米	31.6	松澤初穂	大阪女水	大阪	50	8—8—29
100米	1:11.0	小島カズエ	日本	伯林	50	11—8—8
200米	2:45.0	小島カズエ	梶山	振甫	50	8—7—30
	(2:42.8)	小島カズエ	梶山	七本松	25	8—8—27
300米	4:22.6	守岡ハツ子	關西	神宮	50	10—8—19
	(4:19.6)	小島カズエ	梶山	神宮	25	8—9—30
400米	5:43.1	小島カズエ	日本	伯林	50	11—8—15
500米	7:44.8	守岡ハツ子	茨木	大阪	50	10—7—28
	(7:35.6)	守岡ハツ子	茨木	神宮	25	8—10—1
800米	12:31.8	守岡ハツ子	茨木	大阪	50	10—7—28
1000米	15:57.0	守岡ハツ子	茨木	大阪	50	8—7—30
1500米	24:08.6	守岡ハツ子	茨木	大阪	50	8—7—30
平泳						
50米	40.6	前畑ヒデ子	梶山	振甫	50	10—9—1
100米	1:25.7	前畑ヒデ子	梶山	振甫	50	10—7—27
200米	3:01.9	前畑ヒデ子	日本	伯林	50	11—8—8
	(3:00.4)	前畑ヒデ子	梶山	神宮	25	8—9—30
400米	6:37.6	前畑ヒデ子	梶山	清洲	50	8—8—20
	(6:24.8)	前畑ヒデ子	梶山	神宮	25	8—10—1
500米	(8:03.8)	前畑ヒデ子	梶山	神宮	25	8—10—1
背泳						
50米	39.0	伊藤さとし	中泉	甲子園	50	13—8—19
100米	1:25.1	横田みさを	日本	ロサンゼルス	50	7—8—9
200米	3:10.4	横田みさを	京武	寶塚	50	8—9—10
	(3:09.2)	小田アイ	筑紫女	祐徳	25	11—9—20
リレー						
200米	2:15.0	名古屋	立岩井鈴 松橋上木 京和三代美 子代子	振甫	50	13—9—18
400米	4:53.1	日本	小守古竹 島岡田村 カハツね ズツ子令	伯林	50	12—8—12
メドレー・リレー						
300米	4:13.4	中部	北前小 島ヒカ 島静 子子子 子子子	神宮	50	10—8—19

昭和十三年日本選手権競泳の印象

理事 小山賢之助

一、下馬評

A「今年の選手権大会は大變な人気で、關西地方は湧き立つて居るといふが、一體何が彼等をさうさせて居るのかね？」

B「人気といつても野球には及ばないが、他の競技では殆んど見られない多大な期待を持たれて居る事は事實だ」

A「先づ記録的に言ふと……」

B「何と言つても天野の 1500 だらう、先日の關東豫選では 18 分 58 秒 8 といふ世界新記録を出して居るし、丁度油の乗り切つた所で、40 秒臺に突入して見せると本人が張り切つて居るといふから十分期待していい」

A「天野の泳ぎを見て居ると如何にも『ハリキリボーイ』といふ感じがするね、次に新井はどうだい」

B「新井も關東豫選では 200 米で 2 分 9 秒 6 といふ長水路世界最高記録を出して居る」

A「長水路世界最高記録といふのはエラク長いが世界記録は一體いくらだつたね」

B「メデイカの 7 秒 2 といふのがある、實力記録 12 秒位になるので今の新井よりは數等劣つて居るが FINA の公認とあれば是非もない、然し新井は練習中 8 秒を切つたといふし、現に伯林の合宿では 8 秒臺 constant だつたといふから、長水路世界最高などといはずに、ヒョツトすると世界新記録が announce されるかも知れない」

A「是非ともさうさせたいものだネ」

C「勝負としては、400 が一番面白からう」

B「新井が 400 に進出して來たので俄然興味の中心となつたわけだが、小池葉室の 200、100 平泳もナカナカ見物だ、早慶戦では小池が 2 分 44 秒 0 で葉室の三大學に於ける 45 秒 3 よりも優れて居るが、小池は今の處余り好調でないといふものの、ムザムザと葉室に名を成させるやうなことはあるまい」

A「veteran の方はそれ位にしておいて、インターミドルの選抜選手が、全日本中等から全日本迄合宿して、來るべきオリムピックの爲に精進してゐるといふが此の方からは大物は出ないかね？」

B「インターミドルも昭和 5 年から 8 年頃迄の横山、牧野、片山、宮崎、小池、北村と續けて大物の大量生産をやつた當時に比べると未だしの感が深い、今年あたりは相當な人材が輩出して來たし、伊都中、中京商等の諸選手は祝勝會とか地方の大會を捨てて合宿に参加したといふから、相當の成績を得るものと期待されて居る。」

C「選手権大会が名實共に選手権大会となつて以來始めて關西で行はれるのであるが之に就いて何か特に期待すべきものはないのか」

B「末弘會長の所謂「國民皆泳」といふか、經營學上の Broadening the Basement Policy といふか、俗にいふと Pyramid の高さを高くする爲には基底を廣くする事が必要な事は論を俟たない、此點から言つて、東京のみに大きい競技會を行ふのは策の拙なるものであるから之を一度關西にて開く事が多年の懸案となつて居たが、果して關西で行つて、一流の選手を網羅し得るか否うか、又一流の泳手を集め得たとして、經濟的に收支相償ふか否か、將又、大會事務遂行上支障無きや否や、等々幾多の問題が本年の大會にその解決をせまつて居る、然し、今迄の所、エントリー等から判斷して、早稻田及び慶應主力の欠場の他は、如上の心配は杞憂に終つたかとの感が深い、經濟的にも阪神電鐵等との交渉も都合よく運び只此上は、全國より選ばれた多數の泳手の活躍如何にかかるとなつた」

A、C「いや有難う、これ丈君に説明して貰へば明日からの觀戦は一段と面白からう」

二、第一日 氣温—28° 水温 23°5

男子 100 米自由形豫選

A 組 1 山 下 (濱 一、中) 1:03.0

2	大井	(十合)	1:05.2
3	江頭	(臺中商)	1:08.6
4	松本	(都島工)	1:10.8
B組1	佐々木	(日大)	1:00.4
2	瀬津	(靜中)	1:03.8
3	高尾	(三田)	1:04.4
4	宮木	(臺灣遞信)	1:04.6
C組1	小柳	(中京商)	1:03.6
2	横林	(臺灣鐵道)	1:03.6
3	宮本	(日立鑛山)	1:03.8
4	本田	(立大)	1:04.2
D組1	鶴岡	(立大)	1:02.0
2	岩永	(臺灣鐵道)	1:03.6
3	太田	(都島工)	1:04.0
4	庄田	(關西學院)	1:05.4

女子 100 米自由形豫選

A組1	松村	(山口高女出)	1:21.4
2	辻村	(京府二女)	1:22.8
3	田中	(臺中高女)	
4	宮崎	(關西女子俱)	
B組1	井上	(愛知一女)	2 藤田(土佐高女)
3	高橋	(伊東小學)	4 天野(土肥高女)
C組1	谷口	(京二條女)	1:16.4
2	宅間	(羽衣高女)	1:17.2
3	江間	(臺北一女)	4 吉田(土肥高女)
D組1	飯島	(東京六女)	1:16.4
2	古田	(女子體專)	1:16.8
3	佐野	(東京四女)	4 鈴木(愛知淑徳)

A「總體に記録は善くないね」

B「男子ではインターカレッジの連中が不調で早大の不出場を始め、慶應の高尾、立教の鶴岡、日大の佐々木何れも Top form には遠い、新井が 400 へ出たので、今年の 100 はアナとでもいふべき所だ」

C「といふわけでもあるまいが、中等諸選手の活躍は素晴らしいじゃないか」

男子 50 米背泳豫選

A組1	門屋	(立)	33.4	2 秋吉(無所屬)
3	長谷川	(函商)	4 立石(日)	
B組1	兒島	(慶大)	31.4	
2	谷口	(日大)	31.8	
3	谷口	(廣二中)	4 小林(臺灣殖産)	
C組1	河野	(日大)	32.4	
2	坂本	(立大)	32.4	
3	明	(日立鑛山)	4 服部(津島中)	
D組1	中西	(芦泳會)	33.4	2 平賀(立大)
3	松山	(松本高)	4 原(日大)	

女子 50 米背泳豫選

A組1	畝川	(土肥高女出)	41.2	2 山根(四條啜女)
3	松村	(土佐高女)		
B組1	曾田	(廣島市女)	40.4	2 井上(土佐高女)
3	井手	(筑紫高女)		
C組1	伊藤さとし	(中泉高女)	39.0	(日本新) 2
3	北島	(椛山女)	3 岩本(土肥高女)	
D組1	山本	(愛知淑徳)	40.4	2 有賀(京府二女)
3	廣田	(神戸二女)		

△男子 100 米平泳豫選

A組1	大浦	(立大)	1:18.0	2 松田(高知城東南)
3	林田	(日大)		
B組1	葉室兄	(日大)	1:13.8	2 岩崎(波泳會)
3	池上	(八幡製鐵)		
C組1	小池	(三田)	1:15.8	2 深野(早實) 3
3	葉室弟	(日大)		
D組1	長久	(三田)	1:18.0	2 伊藤(昭和鑛業)
3	田口	(日大)		

△女子 100 米平泳豫選

A組1	中山	(徳島女出)	1:32.2	2 梶岡(土肥女出)
3	宮坂	(椛山女)		
B組1	野中	(東京四女)	1:35.6	2 飯澤(中泉高女)
3	東	(京一女)		
C組1	南里	(神戸二女)	1:34.8	2 山澤(臺中高女)
3	町井	(愛知一女)		
D組1	後藤	(臺北一女)	1:34.0	2 原(女子體專)
3	尾畑	(丸龜女)		

A「女子平泳界も前畑引退後、壺井、野中亦昨年の元氣無く物淋しいね」

B「一概に悲觀したものでないよ、中山などは一才前畑二世ともいふべき體質に恵まれてゐるし、體は少し小さいが野中の kick の強さなど僕は大いに望を囁して居る」

△男子 400 米自由形豫選

A組1	宮本	(多度津中)	4:58.4	2 本間(立大)
4:59.6	3 栗原	(日大)	4 浅野(中京商)	
B組1	高橋	(三田)	5:03.4	2 馬場(日大) 3
4	金子	(濱農蠶)		
C組1	鶴藤	(立大)	5:09.2	2 伊藤(日大) 3
4	川口	(臺北商)	4 河村(名商)	
D組1	新井	(立大)	4:54.2	2 越戸(日大) 3
4	小倉	(和歌商)		

E組 1 天野(日大) 4:51.0 2 岩田(岐阜商)
 3 岩切(立大) 4 友成(臺中二中)
 A「宮本が豫選とはいへ本間栗原等のカレツヂの先輩を軽く一蹴して1着となつたのは偉いね」
 B「豫選から4分臺が4人も出るといふのは心強い、新井と天野の争覇に加へて、インターカレツヂの新進に配するにインターミドルの強剛を以てする此種目は本大會の main event だ」

△女子 400 米豫選

A組 1 三鬼(土肥高女) 6:17.6 2 坂口(中泉高女)
 3 大雲(京府一女) 4 村井(土肥女)
 B組 1 天野(土肥高女) 6:38.2 2 先本(臺北一女)
 3 藤田(中泉) 4 上村(土佐高女)
 C組 1 村岡(十合) 6:17.4 2 岸田(京府二女)
 梶田(愛知淑徳) 4 小澤(東四女)
 D組 1 三浦(横濱水協) 6:07.0 2 立松(楢山)
 3 永田(苦津) 4 松井(臺北一女)
 A「前年優勝者三鬼不調のやうだ」
 B「D組に於ける三浦立松のセリ合ひは豫選とはいへ抜きつ抜かれつの熱戦誠に面白かつた」

△男子 100 米自由形準決勝

A組 1 佐々木 猛 (日 大) 60.0
 2 小柳清志 (中京商) 1:02.8
 3 太田忠勝 (都島工) 1:02.8
 4 宮本利彦 (臺灣遞信) 1:04.4
 B組 1 鶴岡 榮 (立 大) 1:02.6
 2 庄田俊治 (關學大) 1:03.4
 3 礪津三郎 (靜岡中) 1:03.6
 4 横林紀久夫 (臺灣鐵道) 1:04.2

△女子 100 米自由形準決勝

A組 1 宅間美惠 (羽衣高女) 1:16.4
 2 飯島富子 (東府六女) 1:16.6
 3 松村昶子 (山口女出) 1:18.2
 4 藤田佳子 (土佐高女) 1:19.4
 B組 1 谷口美代子 (京二條女) 1:16.6
 2 古田つね子 (女子體專) 1:16.8
 3 井上三代 (愛知一中) 1:18.6
 4 江間絢子 (臺北一女) 1:21.0

A「古豪古田も稍衰へたね last がとても弱い」

B「宅間も last が弱い、その始めの飛出は素晴らしい、將來伸びると思ふね」

C「然し力の配分が下手なのはどうかと思ふよ」

△男子 50 米背泳準決勝

A組 1 兒島泰彦 (三 田) 21.8
 2 河野通廣 (日 大) 32.4
 3 明文一 (日立鑛山) 32.8

4 平賀 孟 (立 大) 33.2
 B組 1 谷口利弘 (日 大) 32.0
 2 坂本响一 (立 大) 32.0
 3 中西長兵衛 (芦泳會) 32.8
 4 門屋 桂 (立 大) 33.4

A「坂本は實力8秒といふが、試合にはどうしてあんなに弱いのだらう、それに touch も拙いのか誰かと身體を並べて goal に入ると、キツト坂本が負けてゐる、何とかして自信をつけてやりたい氣がする」

B「好漢惜むらくは身體が小さい」

△女子 50 米背泳準決勝

A組 1 曾田昌子 (廣島市女) 40.4
 2 北島静子 (楢山女) 41.8
 3 畝川澄枝 (土肥女出) 42.2
 4 有賀 吉 (京二條女) 42.6
 B組 1 伊藤さとし (中泉高女) 39.6
 2 山本うた (愛知淑徳) 40.6
 3 山根歌路 (四條畷女) 42.2
 4 廣田喜久子 (神戸二女) 42.2

△男子 100 米平泳準決勝

A組 1 葉室鐵夫 (日 大) 1:17.2
 2 大浦誠一郎 (立 大) 1:17.2
 3 長久俊三 (三 田) 1:18.0
 4 清水惠三 (同 大) 1:20.0
 B組 1 小池禮三 (靜 浦) 1:14.4
 2 伊藤三郎 (昭和鑛業) 1:18.0
 3 葉室貞男 (日 大) 1:19.0
 4 松田睦夫 (高知城東商) 1:20.4

△女子 100 米平泳準決勝

A組 1 中山絹子 (徳島女出) 1:33.0
 2 野中喜美子 (東府四女) 1:33.2
 3 南里千瑳子 (神戸二女) 1:34.2
 4 原 日出子 (女子體專) 1:35.8
 B組 1 後藤久子 (臺北一女) 1:34.2
 2 梶岡廣江 (土肥女出) 1:35.0
 3 山澤春枝 (臺中高女) 1:35.8
 4 東 トヨ (京府一女) 1:38.4

△男子 400 米自由形準決勝

A組 1 天野富勝 (日 大) 4:49.6
 2 越戸優一 (日 大) 4:59.6
 3 本間俊夫 (立 大) 5:02.6
 4 浅野俊雄 (中京商) 5:06.6
 B組 1 新井茂雄 (立 大) 4:51.8
 2 宮本 茂 (多度津中) 4:58.6
 3 栗原 徹 (日 大) 5:02.0
 4 馬場 止 (日 大) 5:02.6

A「main event 400、早くも準決勝より接戦とでも言ふべき所だね」

B「決勝は日大4名立大2名中等學校2名だ、馬場栗原にして見れば本間に對して三大學戰の復讐を遂げ度い所だ、宮本がこの間に伍して如何に戦ふか新井對天野の大試合の他に下位にもナカナカ見所の多い試合だ」

C「三大學では800米で栗原、400米で馬場が本間にタツチで破れて居る」

△女子400米自由形準決勝

A組	1	三浦ハナ	(横濱水協)	6:08.2
	2	三鬼百合子	(土肥高女)	6:16.4
	3	梶田宏子	(愛知淑徳)	6:21.2
	4	岸田静枝	(京府二女)	6:30.4
B組	1	立松品子	(椛山女)	6:14.2
	2	村岡雪華	(十合)	6:17.2
	3	坂口ヨシ	(中泉高女)	6:20.8
	4	永田喜奴子	(苦津女)	6:23.4

三、第二日 8月20日、氣温28° 水温24°5

△男子100米背泳豫選

A組	1	平賀(立大)	1:13.6	2	松本(松山商)				
	3	明(日立鑛山)		4	中西(芦泳會)				
B組	1	河野(日大)	1:11.2	2	坂本(立大)	3	長谷川(函商)	4	佐藤(川崎造船)
C組	1	兒島(三田)	1:09.6	2	門屋(立大)	3	谷口(廣二中)	4	服部(津島中)
D組	1	谷口(日大)	1:10.8	2	井上(三田)	3	小林(臺灣拓殖)	4	藤井(濱一中)

A「兒島の9秒臺は確實になつた、他にも10秒臺の谷口河野の進出は頼母しい」

B「然し何といつても背泳は手薄だ、心細い」

△女子100米背泳豫選

A組	1	山本(愛知淑徳)	1:29.4	2	飯島(東府六女)	3	井手(筑紫高女)	4	丸山(臺中)
B組	1	伊藤(中泉農)	1:27.0	2	曾田(廣市女)	3	有賀(二條女)	4	井上(土佐高女)
C組	1	畝川(土肥女出)	1:33.4	2	松村(土佐高女)	3	山根(四條畷)	4	大久保(臺中)
D組	1	北島(椛山)	1:30.6	2	廣田(神二女)	3	土倉(京府一女)	4	田村(橋本高女)

△男子100米自由形決勝

1	佐々木 猛	(日本大學)	60.0
2	鶴岡 榮	(立教大學)	1:02.4
3	小柳清志	(中京商業)	1:03.0
4	太田	(都島工)	1:43.8

A「佐々木は練習不足か、lastが思つたよりは出

なかつた」

B「勿論相手も居ないので、出した所で1着に變りはないといふものの、日本選手權を争ふのだから調子を落したとは考へたくない、矢張不調だつたのだらう」

C「小柳、太田と3,4位に入つたのはインターミドル選手としては上出来だつたね、田加先輩の言によれば『インターミドルの選手が選手權に出場しても、到底2着3着にはいる事は難しいが、決勝位迄行けば彼等の水泳経歴、試合度胸の爲に大いに資する所があるだらう。』といふ事であつたが、劈頭行はれた此種目に小柳の入賞はインターミドルの爲に萬丈の氣を吐いたものといふ事が出来る」

△女子100米自由形決勝

1	谷口美代子	(京二條高女)	1:16.6
2	飯島富子	(東府六女)	1:16.6
3	古田つね子	(女子體專)	1:17.4
4	松村	(山口女出)	1:18.2

A「記録は餘り香しくない」

B「然し激戦だつたね、石田、宅間、谷口、飯島夫々2345コースで火のでの様なdeadheatだつた75米迄頑張つた宅間も案外弱かつた、新進飯島健闘大いに努力をがタツチの差で波れたのは是非もない」

△男子200米平泳豫選

A組	1	小池(靜浦)	2:49.0	2	田畑(京二商)	3	田口(日大)	4	加藤(立大)
B組	1	大浦(立大)	2:48.0	2	葉室兄(日大)	3	松原(耐久中)	4	加藤(袋井商)
C組	1	長久(三田)	2:56.2	2	山口(明大)	3	小幡(濱一中)	4	葉室弟(日大)

A「豫選とはいへ、大浦が葉室兄を小幡が葉室弟を破つたので、觀衆は大喜びだつたね」

B「葉室弟はバタフライが災ひしたのではないだらうか、200平泳にspeedをつける爲に存して居る100米平泳が最近の傾向では100米専門のバタフライ選手を作る結果となつて居るのは嘆かましい。バタフライを禁止するか、或ひは昭和4,5年頃のやうに400米平泳を作る方が善いやうだね」

C「インターミドルには特にその感が深い」

△女子200米平泳豫選

A組	1	大川(京府一女)	3:25.2	2	原(女子體專)	3	奥田(京府二女)	4	山澤(臺中)
B組	1	中山(徳島女出)	3:18.8	2	富坂(椛山)	3	加藤(廣島市女)	4	井田(土佐)
C組	1	野中(東四女)	3:23.2	2	鈴木(愛知淑徳)	3	飯澤(中泉)	4	町井(愛知)

D組 1 南里(神二女) 3:23.8 2 後藤(臺北一女) 3 梶岡(土肥女出) 4 葉室(筑紫女)

△男子400米自由形決勝(4位以下非公式以下同じ)

1	新井茂雄	(立教大學)	4:47.0
2	天野富勝	(日本大學)	4:47.4
3	宮本茂	(多度津中)	4:56.6
4	越戸	(日大)	5:00.0
5	馬場	(日大)	5:01.6
6	栗原	(日大)	5:03.0
7	本間	(立大)	5:05.0
8	淺野	(中京商)	5:07.2

A「物凄い大レースだつたね」

B「新井天野のラップは左の通りだ」

新井	1:02.8	2:15.2	3:30.8	日本新
天野	1:05.8	2:19.8	3:34.6	

200米で約6米水をあけられた時は観衆の殆んど全部は天野に勝算なしと見た様だつたが340米位からの天野の追泳には満場只酔ふが如く吾を忘れ固唾を呑んで見入つて居た、實際350米からは見る見るうちに5米ばかりつめたからね、全くあの追泳は凄かつた」

C「ラスト10米の新井の逃込み、あれ丈浮いたやうになり乍らよく新井も頑張つたね、390で一掻きの差となり、もはや抜かれたと思つたところがそこで両者の差は釘付けとなりそのままゴールに雪崩れ込んだ、實に息詰るやうな試合とはこんな試合を言ふのだらう」

A「上掲のタイムでもわかる通り第二線もなかなかの接戦だつた」

C「茲でも中學選手が堂々入選して居るよ」

△女子400米自由形決勝

1	三浦ハナ	(横濱水協)	6:01.4
2	村岡雪華	(大阪十合)	6:13.8
3	三鬼百合子	(土肥高女)	6:14.4
4	立松	(椚山)	6:16.0
5	坂口	(中泉)	6:17.0
6	梶田	(愛知淑徳)	6:19.6
7	永田	(苦津)	6:23.8
8	岸田	(京府二女)	6:24.4

A「三浦樂勝」

B「第二線は接戦だつた、立松は豫選で12秒0準決で14秒2二位の實力を持ち乍ら敗れたのは氣の毒だつた」

C「女子の實業團もナカナカ強いね」

B「實業團が強いといふよりは、學生が弱いのだよ」

△男子50米背泳決勝

1	兒島泰彦	(三田水泳會)	31.0
---	------	---------	------

2	谷口利弘	(日本大學)	32.4
3	坂本响一	(立教大學)	32.4
4	明	(日立鑛山)	33.0
5	河野	(日大)	33.0
6	門屋	(立大)	33.0
7	平賀	(立大)	33.4
8	中西	(芦泳會)	33.8

A「短距離は決勝となると一般に記録が悪くなるね」

B「然し兒島は矢張決勝で一番好い記録を出してゐる。斷然強いのがだから精神的に餘裕があつたのだらう。」

C「慾を言へば日本記録30.8(清川)を更新して貰ひ度かつた」

△女子50米背泳決勝

1	曾田昌子	(廣島市女)	39.4	(日本對)
2	伊藤さとし	(中泉高女)	39.6	
3	山本うた	(愛知淑徳)	39.8	
4	北島	(椚山)	41.6	
5	山根	(四條曙)	41.8	
6	畝川	(土肥女出)	42.2	
7	有賀	(京二條女)	42.4	
8	廣田	(神二女)	43.2	

A「稀に見る大接戦だつたね」

B「伊藤は最初コースロープに引かかつて曾田に水をあけられ、後半力泳空しく2着となつたが豫選に日本記録を作つて居る丈に氣の毒だ」

C「30秒臺が3人現はれたのは女子背泳界の爲に慶賀に堪へない」

△男子200米自由形豫選

A組	1 小柳(中京商)	2:22.0	2 島本(三田)		
	3 鶴岡(立大)	4 宮本(日立鑛山)			
B組	1 宮本(多度津中)	2:19.0	2 大塚(臺北帝大)		
	3 馬場(日大)	4 本田(立大)			
C組	1 佐々木(日大)	2:21.4	2 鶴藤(立大)	3 宮本(臺灣遞信)	4 山下(濱一中)
D組	1 新井(立大)	2:15.0	2 小野(京二商)	3 平野(臺北商)	4 中澤(三田)

B「新井のラップは左の通りだ」

26.8, 60.2, 1:37.2, 100米までは物凄く飛出し日本新記録を思はせたが後半浮いて15秒0、新井如何に超人的力量あるにもせよ200米の初め60秒2に少し出し過ぎだらう」

A「然し7秒臺の記録を作るには1分を割つて行かねば難しいのではないだらうか、後半70秒で行くは相當骨だからね」

△男子100米平泳決勝

- 1 葉室 鐵夫 (日 大) 1:13.0 (日本對)
- 2 小池 禮三 (靜 浦) 1:13.8
- 3 大浦 誠一郎 (立 大) 1:17.0
- 4 伊 藤 (昭和鑛業) 1:17.0
- 5 長 久 (三 田) 1:17.6
- 6 葉室 弟 (日 大) 1:18.8
- 7 清 水 (同 大) 1:19.2

A「小池不調だね、200 では前にも敗けてゐるが100 ではいつも勝つて居ただけに之に敗れるといふのは明かに不調だ」

B「小池不調といふよりは葉室好調といひ度い、漸く彼も100の呼吸が會得されて來たのであらう、小池の日本記録に對記録を作つたのだから」

C「之で200平泳の興味が既に減じたわけだね」

A「OB 伊藤の健闘も賞すべきだ、ラスト少し疲勞してタッチで破れ、長久にも追ひ込まれたが、實業界へ入つて尙一流選手と伍して遜色が無い」

△女子100米平泳決勝

- 1 中山 絹子 (徳島女出) 1:32.0
- 2 野中喜美子 (東府四女) 1:32.2
- 3 南里千瑳子 (神二女) 1:33.0
- 4 後 藤 (臺北一女) 1:33.6
- 5 山 澤 (臺中高女) 1:35.0
- 6 梶 岡 (土肥女出) 1:35.4
- 7 原 (女子體專) 1:36.4
- 8 東 (京府一女) 1:36.8

B「斯う Dead Heat になると身體の大きい方が徳だね」

C「野中は未だ將來の有る人だ、今年優勝しなくとも必ず優勝する時が來るだらう」

△男1500米自由形豫選

- | | | |
|----|----------------|------------------|
| A組 | 1 栗原 徹 (日 大) | 20:05.4 |
| | 2 本間俊夫 (立 大) | 20:21.4 |
| | 3 友 成 (臺中二中) | 21:05.8 |
| B組 | 1 岩田 務 (岐 阜 商) | 20:53.0 |
| | 2 河 村 (名古屋商) | 21:02.6 |
| | 3 關 (湊 商) | 21:15.4 |
| C組 | 1 越戸優一 (日 大) | 20:11.2 |
| | 2 淺野俊雄 (中京商) | 20:16.0 |
| | 3 宇田守榮 (高知商) | 20:56.0 Best 3rd |
| D組 | 1 天野富勝 (日 大) | 19:20.0 |
| | 2 片山 崇 (三 田) | 20:16.6 |
| | 3 岩 切 (立 大) | 21:04.4 |

A「結局21分を切らねば決勝には残れない」

C「前年度選手権保持者高橋が棄權したのは非常に惜しい、關(湊商)清原(灘中)木村(日大)の

3名が2,3,4とコースを隣り合せ、初めから終り迄殆んど一線に並行した儘3位を争つたのは大局には影響無しとはいへ面白く、關のラストの頑張功を奏して3位となつたのは、特に合宿に選ばれた彼として必死の奮闘だつたのだらう」

△女子200米自由形豫選

- | | | | | | |
|----|------------|--------|------------|------------|------------|
| A組 | 1 村岡(十合) | 2:56.0 | 2 梶田(愛知淑徳) | 3 三鬼(土肥高女) | |
| B組 | 1 三浦(横濱水協) | 2:51.0 | 2 立松(椛山) | 3 佐野(東府四) | |
| C組 | 1 谷口(京二條女) | 2:54.0 | 2 坂口(中泉高女) | 3 吉田(土肥高女) | |
| D組 | 1 宅間(羽衣高女) | 2:56.8 | 2 鈴木(愛知淑徳) | 3 上村(土佐高女) | |
| E組 | 1 古田(女子體專) | 2:52.2 | 2 井上(愛知一女) | 3 松井(臺北一女) | 4 村井(土佐高女) |

四、第三日 氣温 28° 水温 25°

△男子200米自由形準決勝

- | | | |
|----|---------------|--------|
| A組 | 1 新井茂雄 (立 大) | 2:11.6 |
| | 2 佐々木 猛 (日 大) | 2:19.2 |
| | 3 宮木利彦 (臺灣遞信) | 2:20.2 |
| | 4 島本信美 (三 田) | 2:22.0 |
| B組 | 1 宮本 茂 (多度津中) | 2:17.4 |
| | 2 馬場 止 (日 大) | 2:21.8 |
| | 3 小柳清志 (中京商) | 2:22.4 |
| | 4 鵜藤俊平 (立 大) | 2:22.8 |

A「新井100のラツプ1:01.0、後半關東豫選の時の凄さが無い」

B「佐々木亦三大學の時の元氣なく新井の跳梁に委せて居る」

△女子200米自由形準決勝

- | | | |
|----|----------------|--------|
| A組 | 1 三浦ハナ (横濱水協) | 2:49.4 |
| | 2 立松品子 (椛山女) | 2:54.0 |
| | 3 村岡雪華 (大阪十合) | 2:56.2 |
| | 4 井上三代 (愛知一女) | 2:58.8 |
| B組 | 1 宅間美恵 (羽衣高女) | 2:50.0 |
| | 2 古田ツネ子 (女子體專) | 2:51.8 |
| | 3 谷口美代子 (京二條女) | 2:52.4 |
| | 4 坂口ヨシ (中泉高女) | 2:54.8 |

△男子100米背泳準決勝

- | | | |
|----|----------------|--------|
| A組 | 1 兒島泰彦 (三 田) | 1:09.6 |
| | 2 坂本响一 (立 大) | 1:11.6 |
| | 3 河野道廣 (日 大) | 1:12.8 |
| | 4 明 文一 (日 立) | 1:14.6 |
| B組 | 1 谷口利弘 (日 大) | 1:10.8 |
| | 2 松本 進 (松 山 商) | 1:13.0 |

- 3 平賀 孟 (立 大) 1:14.2
4 門屋 桂 (立 大) 1:14.6

△女子100米背泳準決勝

- A組 1 伊藤さとし (中泉高女) 1:26.4
2 飯島富子 (東府六女) 1:29.2
3 北島静子 (椛山高女) 1:30.6
4 有賀 吉 (京二條女) 1:35.2
B組 1 山本うた (愛知淑徳) 1:28.2
2 曾田昌子 (廣島市女) 1:29.8
3 畝川澄枝 (土肥女出) 1:31.8
4 井上欣子 (土佐高女) 1:34.2

△男子200米平泳準決勝

- A組 1 大浦誠一郎 (立 大) 2:49.2
2 長久俊三 (三 田) 2:52.4
3 田畑三郎 (京 二 商) 2:54.2
4 田口 實 (日 大) 2:57.6
B組 1 葉室鐵男 (日 大) 2:48.8
2 小池禮三 (靜 浦) 2:50.8
3 松原正次 (耐 久 中) 2:54.6
4 山口正保 (明 大) 2:57.6

A「3等迄及最優4等迄入選に對し、4着のタイムが兩者同一とはナカナカ面白い事だ」

B「小池も餘り調子がよくないね、準決勝とはいふもののlastでは葉室小池共に相當頑張つて居たやうだつたが、葉室の力強い泳ぎに對して小池のはピツチの割合に滑つて居らない」

△女子200米平泳準決勝

- A組 1 野中喜美子 (東府四女) 3:22.8
2 原日出子 (女子體專) 3:26.0
3 後藤久子 (臺北一女) 3:26.8
4 奥田明子 (京府二女) 3:27.6
B組 1 中山絹子 (徳島女出) 3:18.6
2 梶岡廣江 (土肥女出) 3:21.2
3 南里千瑳子 (神戸二女) 3:25.2
4 大川喜美子 (京府一女) 3:28.0

△男子200米自由形決勝

- 1 新井茂雄(立 大) 2:10.6 (日本新)
2 宮本 茂(多度津中) 2:15.8
3 佐々木 猛(日 大) 2:19.4
4 宮 木(臺灣遞信) 2:20.4
5 小 柳(中京商) 2:21.8
6 鵜 藤(立 大) 2:22.0
7 島 本(三 田) 2:22.0
8 馬 場(日 大) 2:24.4

A「新井のラップは、29.0, 61.8 1:36.4 堂々たる日本新記録である、然し關東豫選で作つた2:09.6には及ばない」

B「佐々木は三大學で2:15.4の好記録を獲てゐるので好調ならば新井を追つて、新井に大記録を作

せらるだらうと期待されたが、元氣なくlastで宮本に水をあけられ、若冠よく2着に入るの結果となつた。宮本たるもの之に甘んずる事なく他日の大を期し精進せねばなるまい」

△女子200米自由形決勝

- 1 三浦ハナ (横濱水協) 2:51.0
2 谷口美代子 (京二條女) 2:51.0
3 宅間美惠 (羽衣高女) 2:51.2
4 古 田 (女子體專) 2:52.4
5 立 松 (椛 山) 2:53.4
6 村 岡 (十 合) 2:56.4
7 坂 口 (中泉高女) 2:57.4
8 井 上 (愛知一女) 2:58.6

A「男子と違つて近來稀に見る大接戦だつた。記録的に見ても昭和12年度10傑第1位は2:51.2である、此入賞者は盡く之と同等以上の好記録を出してゐるわけだ。三浦は勝をとる爲にか、タイムは準決勝の方が好かつた」

B「始めの100の宅間、谷口、古田、立松のセリ合ひラストの宅間・三浦・谷口の激闘、女子にもこんなに白熱したレースが見られる事は誠に心強い、始めの100を1:16.6で飛ばせた宅間と1:23.0の三浦とは好對照をなして居た、試合としては三浦の方針が上手だが、僕個人としては宅間typeの方が好きだ、今回は失敗したが何時かは此戦法が效を奏する時が來ると思ふ」

C「三浦のlast50米の追撃は天野の新井に於ける追泳にも似て物凄い迫力があつた、200, 400の兩選手權を物にした三浦はさぞ満足だつたらう」

△男子100米背泳決勝

- 1 兒島泰彦 (三 田) 1:09.2
2 谷口利弘 (日 大) 1:11.0
3 坂本响一 (立 大) 1:11.2
4 河 野 (日 大) 1:11.8
5 松 本 (松 山 商) 1:12.8
6 門 屋 (立 大) 1:13.8
7 明 (日 立) 1:14.6
8 平 賀 (立 大) 1:14.6

B「清川勇退以來背泳は兒島の獨壇場の觀があるが、今少し新人が出てもいい頃だね、新人を養成するよすがにもと、昨年 Kiefer を呼んだが、Kiefer turn の一番上手なのが兒島であつては他の者の浮ぶ瀬が無いわけだ、『背泳に新人出でよ』と叫び度いのは豈僕一人のみではあるまい」

C「turning の上手なのは結局泳ぎがよいからだ」

△女子100米背泳決勝

- 1 伊藤さとし (中京高女) 1:26.0
2 山本うた (愛知淑徳) 1:28.2

3	飯島 富子	(東府六女)	1:29.6
4	會 田	(廣島市女)	1:30.6
5	北 島	(梶 山)	1:30.8
6	畝 川	(土肥高女)	1:32.2
7	有 賀	(京二條女)	1:34.6
8	井 上	(土佐高女)	1:36.2

A「伊藤實力を十分に發揮して好記録で優勝したやがて日本記録の作られるのも遠くはあるまい」

B「然し昨年我々が懐いた希望は遂に實現せられなかつた、伊藤・山本・北島・畝川等 26.2 から 28.0 とズラリト 10 傑の 4 位迄を並べた時に今年こそは日本新記録が 7 年振りに破られるだらうと期待したのだつたが」

C「さうあせる必要もあるまい 10 傑の平均が年々向上する時、一個の天才が作った超人的な記録と雖も必ず破られる日が来るのだ、まして 100 米背泳の記録とて國際水準から見れば低いのだから今によい記録が作られるだらう」

△男子 200 米平泳決勝

1	葉室 鐵男	(日 大)	2:42.2
2	大浦誠一郎	(立 大)	2:46.6
3	田畑三郎	(京二商)	2:52.0
4	長 久	(三 田)	2:52.8
5	松 原	(耐久中)	2:54.2
6	田 口	(日 大)	2:56.4

A「小池の棄権は随分觀衆を落膽させたね」

C「お蔭で若冠田畑よく 3 位に入賞した、小池の出場があれば當然落選する所を入選したのだから獎勵にはなる」

B「葉室は今年は 100 の speed を専ら研究した爲か 200 は昨年よりは記録が悪い、未だ未だ伸びて貰はねばならない葉室だから今一層の精進を祈つてやまない」

△女子 200 米平泳決勝

1	中山 絹子	(徳島高女出)	3:20.4
2	野中喜美子	(東府四女)	3:21.6
3	大川喜美子	(東府一女)	3:23.4
4	梶 岡	(土肥女出)	3:23.6
5	南 里	(神二女)	3:26.0

A「記録はどうも香しくない、前畑無き後後継者續々現はれ、我々も喜んだのであつたが今年の平泳は前畑時代に前畑一人を抜いたよりも未だ悪い」

B「壺井・村尾諸嬢の勇退もあるが南里・後藤なども昨年に比し不調な様だ、女子競泳が男子同様の level に達するのはナカナカ遠い」

C「量的には相當充實して來て居るのが唯一の頼

みだ、インタミドルでも單獨にやれるやうになればやがてよくなるだらう」

△男子 1500 米決勝

1	天野 富勝	(日 大)	19:19.4
2	本間 俊夫	(立 大)	20:01.4
3	越戸 優一	(日 大)	20:05.2
4	栗 原	(日 大)	20:09.2
5	淺 野	(中京商)	20:26.0
6	片 山	(三 田)	20:27.4

A「田畑先輩メガホンの應援も效無く待望の世界記録は出なかつた」

B「本間力泳して越戸栗原を破り 400 の仇を返したが今少しで 19 分臺になる所を惜しくも逸した」

五、決 算

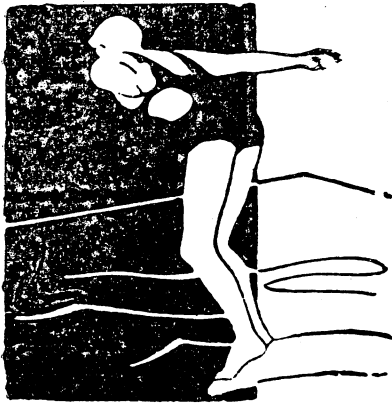
A「記録としては男子 200 自由、300 自由と女子 50 背に日本新記録、男子 100 平と女子 50 背に日本對記録を得て順調な結果だつた、只關東豫選での天野の世界新記録、新井の日本新記録には及ばなかつたのは期待に反したといふべく残念でならない」

C「race としては天野對新井の 400 は期待に沿つた大 race であつた、女子 200 自由形 50 背泳なども大 race として頭に残つてゐる」

B「水泳界の level が年々高まつてくると、對校試合、選手権、インターカレッジと大試合を續けるには選手側に於て非常な苦痛が伴つて來る、そして學生としては母校の榮譽を賭けて戦ふ對校試合、インターカレッジを重要視する關係上どうしても選手権を捨てるといふ結果になつてくるので、學生選手を以て主力を形成する我水泳界としては選手権大會を毎年盛大に行ふには多大の苦心を要するのであつて、彼此衡量して選手の負擔を輕減すると同時に名實共に其年度の日本選手を決定する大會たらしむる爲には NSR としては常に斬新な創意と企劃とを以て水泳界をリードして行く必要がある、今回選手権大會が大阪で行はれた事については種々の方面から見ても有意義な事であり、その成否は NSR 將來の方針を定める上にも重大な關係があつたのであるが、かくも盛大に開催せられ記録的にも量的にも將又經營上の事務財政より見ても成功を収めた事は喜びに堪へない、今回の大會が契機となつて關西地方委員會の成立の素地が作られ、伸び行く我水泳界に呼應して NSR の組織が擴充して行くのは當然な事乍ら誠に喜ばしい」

A. C.「オヤオヤ NSR 自畫自讃とは恐れ入つたね」

以 上



日本學生水上競技 大會飛込競技觀戰記

大會審判員

高橋庄之助

日本學生飛込競技大會の觀戰記を書くにあたり何をおいても臥薪嘗膽十年餘度孤軍奮闘と云ふ様なみじめな時代をすぎ本年初めて飛込競技の三種目の覇権を獲得し優勝された早大に御祝ひ申し上げねばならぬ。

此年の學生大會は最初から豫想された如く早大と日大の争と云ふ事は解つて居つた、其して又各方面より考へて見て此の試合は日大に利の有る様に思はれた、併し日大の闘將柴原の不調と云ふ事も有つたか試合の結果 42 對 39、3 點の差をもち早大が優勝した。

早大の優勝と云ふ事は如何なる處に有るかと云ふ事を熟慮して見れば色々の原因も有るので有らうが、次の様な事が一大原因をしてゐる様に思はれる。早大に取つても早大のホープとも云ふべき瓶子が試合三日前の練習中に目を打ち盲膜が離れ絶対安靜不出場と云ふ思ひも依らぬ出來事で早大に取つては大きい打撃で有つただらうが、その様な悪コンディションに置れ乍らも早大の優勝と云ふ事は小柳自身の技術も數段の進歩をしたと云ふ事もあらうがもつと大きい物が有つた様に思はれる、それは學生としての最大の試合日本學生大會で有ればこそインターカレヂで有ればこそチーム全體に出る偉大な精神力の現れで有る様に思はれる。

日大としては闘將で有る柴原の不調からチーム全體の不調となつた様に思はれた、そして日大軍は混合飛にもつと大量得點をせねばならなかつたのではなかつたらうか、毛利の三等森六等などは餘りに不調で有つたと云はなければならぬ。

總點第 3 位の慶大チームは全體から見て實に良く戦かつて居つたと思はれる、北田の飛板の第三位矢野の高飛込の三位、混合飛では佐藤の第二位は共に慶大の着實なる試合と思はれる。

明大は無得點に終つたとは云へ新人ばかりのチー

ムは無理もない事だ又奥田が試合數日前鼓膜を破り中耳炎を起して居るにもかゝらず出場した事は涙ぐましい奮闘であり例へ無得點に終つたとはいはへその健闘を賞すべきだ。又其の新人のリダーで有る奥田の苦勞も相當思ひやられる。高飛込第八位の山田などは相當の飛込をしてゐる。又明大先輩がのこした傳統を追ひ二三年後には相當のチームとなる事の有らう。關西の唯一の出場校關西學院には此の機會に一言御願ひ致したい事は飛込選手の少い關西の飛込界を大いにリードされ、引いては自校の飛込を發達に導かれ此の試合に多數飛込選手を送られん事を望みます。

次に各個人別に見れば飛板、高飛込に於て一位の小柳は長年柴原に負け續けて來たが今度の試合に常勝柴原を破り引いては早大の優勝となつたが早大の飛込をリードしてゐる彼にとつては實に嬉しい事の有つたらう。

小柳の技術の進歩は如何なる處に有るかと云へば踏切を相當會得し體の中心が腰から下に來たと云ふ事が一大重點で有る様に考へられる、其して以上の事を主として考へた場合従として進歩した方は何處に有るかと云へば飛込空中表情が非常に良くなり空中の表情を上手く水の中に消すと云ふ處に有つた。それは飛込自身が樂になり小さい處まで氣をくばり飛んで居ると云ふ事で有らう。併し選擇飛に於てはまだ規定飛の段階まで達て居らずその中途に有る。唯規定飛に於ても選擇飛に於ても同一の氣持同一の方法で踏切をして欲しい。又その様な練習をされた

高飛込飛板飛込に常勝で有つた柴原が非常な不調から惜しくも二位になつたが柴原の不調は色々な原因が有つたらうが試合當日の飛方から見て練習不足が目立つて居つた、そして飛込其の物に少しの迫力も見えず常の飛方が見えなかつた、柴原の様にとちらかと云へば堅い飛込は此の様な不調な時には一

層のくずれた飛込に見えた、又柴原の飛込の此の様な不調と云ふ事は其の反面自身の飛込の轉換期とも考へ得られる、又自分にて自分の飛込を幾分變へて行くと云ふ事に心掛けたならば此のランプを抜けた頃には又違つた飛込にもならう、そしてなほ考へなければならぬ事は今迄あれだけ實力を持つて居り乍らもコーチに自分の飛込全部をまかせて居つたが此の頃一人の練習になつてしまつたそれが又柴原の飛込に取つては一大轉換で有らう、又それと同時に飛込に對す考へも非常に變つて來る様に思はれる、自分の飛込全部をコーチにまかすと云ふ事は外國の例を見ても非常に良い事では有るが、日本の飛込界に於ては無理な事では有らう、又今の同君の様な場合にはコーチから離れ一人の練習になり如何なる練習をしたらよいのか相當の考慮が必要なのではないだらうか、それに同君自身日大チームと云ふ大きなものをリードするにはなほの事自分の練習と云ふ事を考慮すべきは必要だと思ふ。種目の中でも一回捨りながら前宙返り一回半なぞに非常に無理で自分でこぢつけて飛んで居る様に思はれた、併しいくら不調とは云へ後踏切前飛の種目は非常に上手かつた、高飛込に置ても決して小柳には負けて居らなかつた小柳も規定飛に於ては相當失敗をして居つた、併し柴原は小柳の入水と精神力にて負けたと云つても過言では無からう、それに柴原の不調から來る後宙返り二回の失敗は大きかつた、高飛込に於ては飛板とは違ひ實力の差は少しも見えなかつた。

飛板にて第三位高飛に於て第五位の北田は此度の試合に於ては相當氣持が樂に飛べ、種目全體はよく飛んで居た、又それと同時に、今迄あれだけきびきびした神経を持ち乍ら何故あの様に不安な氣持で飛んで居つたのかと考へて見れば非常に無理な踏切をして居つた事に一大原因をして居るので有らう、又北田自身感じて居る事だらうと思ふが助走の三步目から四歩目に移る處に無理が有り飛込が自然でなく常に自分でおさえながら飛んで居る感じがする。

又北田に第一に望む事はもつと飛込の初歩にもどりこわさをなくすと云ふ事を自分で心掛けるべきでらう、高飛込なぞは飛板の實力から云へばもつと上位に這入るべきで有る、そして高飛込をしてをる時にも見て常に感じる事だが空中に於て最後まで氣持を張り切り通さず氣持をぬく事が餘りに早すぎるので失敗が多いのではなからうか、飛板に於て第四位の毛利は規定飛に於ては實に失敗が多かつた、全日本の不調が此の試合にまで續いて居つた様に思はれる、實力の點より見れば毛利は當然第三位に食ひ込

むべきで有つた事と思ふが不調の結果第四位に落ちた事も相當の番狂の事で有つたらう、毛利は飛込のスケールとか動きには相當よき認識を持つて居る様に見受けられる其の認識に實力が及んで居らない、その及んで居らないキーポイントはほんの小さい處に居るのだ。自分では相當自然に飛んで居ると思つて居る事だらうが飛込に迫力が一つも見えない高飛込第三位の矢野は飛板もやらずにあれだけ高飛に於て大きい飛込をしてをる事を常に思ふがもつと飛板の練習をも合はせ行へば未だ未だのびる事と思ふ、混合飛に於ても第五位に入賞し居る事から考へて見て飛板をやる事も決して無理ではない。そして高飛込に於ても一般に手の方を中心として飛ぶ傾向が見られる、それ故大いに飛板を飛び中心をもつと腰から下にもつて行つたがよからう。

高飛込第四位の細谷の飛込は飛込を水におさめると云ふ事では實に上手で有る、併しいつものレベルを打破したと云ふ事の見えぬのはおしい事で有る、その打破と云ふ事はほんの小さい事で出来るのではないだらうか、助走の走方を變へるとか又手の振方をとかでもよいのではなからうか、その様な事が引いては大きい變化となつて現れて來るのだらう、此れは細谷一人でなく飛込をする人全部にもあてはまる事なのだらう。

飛板に五位混合に優勝した加茂は此の日本學生大會と云ふ事を良く認識しよく戦ひ常々の試合の様に餘り大きい失敗もなく飛んだと云ふ事は偉大な進歩で有る、混合飛に優勝したと云ふ事は早大の總得點より見れば大きいもので有る、併し加茂の飛込を見た場合誰しも同一の感じの事と思ふが「はがゆい」と云ふ一語につきる事だらう、飛板飛込混合飛共に第六位の森は飛込に於ける感覺は非常によい感覺で有るが飛込は非常に荒削であると云ふ感が有つた。尙踏切で足首の延びがないのは前々からだが身體全體が少々後に掛かるのが目についた、今後大いに緊張され次の日大の飛込をリードされん事を。

高飛込第六位の奥島は慶大の新人では有るが良く戦つた。併し飛込全體が爪先で飛び足のスナツプをきかすと云ふ事にならぬ様に見受けられた最後踏切をもつと堂々と大きく今から飛ばれん事を望む。

其して最後に此年の日本學生飛込競技を一口に云へば優勝圏外に有つた慶大は氣の樂な確實な試合をし相當以上の成績を上げ日大は早大と優勝争ひで有つたがチームの不調から精神力で試合をした早大に破れ優勝は早大のものになつてしまつた。競泳に於ける學生大會の慶大の如く精神力で有る結局團結した大きい精神力で戦かはねばならぬのではないだらうか。

水 球 座 談 會

昭 和 十 三 年 十 二 月 三 日
於 丸 じ ろ 水 上 競 技 聯 盟

出席者 笹島彦次郎氏 藤田 明氏 三橋達郎氏
川田 稔氏 和田幸一氏 新間六柄氏
越川 壽氏 松本司朗氏 平野 亮氏
川田洋二氏

藤田 一寸御挨拶申し上げます。現在我國の水上競技が俗に水上日本など、呼稱されて非常に輝かしい存在になつて居りますが、これは男子競泳のロスアンゼルス、ベルリン、兩オリンピック大會に於ける華々しい成果の賜物でありまして、一步目を水球、飛込、女子競技等に轉じますと些か淋しい感じがする次第であります。特に水球は世界の水準から見まして他の水上競技の部門よりも更に遅れて居るやうな所にありますので、これの發展を圖り、如何にして振興するかと云ふことは吾々水球人に課せられた名譽ある責務と言ふ可きであります。

本日は日本の水球の指導的立場に居られる水上聯盟の笹島委員長と三橋さんに特に御出席を願ひまして、學生聯盟側からも水球の責任の立場にある諸君、並びに技術方面の第一人者、第一線に居られる方々にお集りを願ひまして、大體本年一箇年間の水球の動きを回顧してこれに依つて將來に對する何等かの指針を得たいと思ひ、御多忙中皆さんの御足勞を煩はした次第であります。甚だ僭越であります私が司會をさせて頂くことに御諒承願ひまして、先づ本年1年間の全般的技術の向上程度はどんなものであつたかと云ふことを皆さんからお聞かせ願ひたいと思ひます。笹島さん如何ですか。

笹島 勿論今迄だつて毎年進歩してなかつたとは言はんのですけれど、今年は後で多分話が出るでせうけれども、あのフロイド氏などの非常にいい意味の刺激があつたので例年よりはずつと數段階を飛び上つたやうに思ひますが、どうですか、三

橋さん

三橋 さうですね、一般にも上つたし、第一線の人達が更に上つたと云ふやうな氣もするね、一般に上つたと云ふのは春の合同練習を帝大のプールでやつたのがリーグ戦に於て顯著に出たやうに思ふ。何と云ふか、攻撃テクニクかな、防禦のテクニクかな、さう云つたテクニク、マークの點が進んだのぢやないか。

笹島 攻撃の策戦と云ふのは慶應が考へた苦肉の策なんだが、それが進歩と云へるか退歩と云へる分らぬが、新機軸は新機軸だね。話には今迄聞いて居たが、或は行はるべくして行はれなかつたのが兎に角成功したわけだね、

藤田 慶應のフローティング フォワード システムが或程度成功して實際の成績として現はれて居るのだから、これは矢つ張り進歩の中に入れるべきでせう。

笹島 併しそれで進歩と云つて安心は出来ないね、やつとこれで追付けたわけだからね、今後は日本式のシステムを何か考へ出さなければならぬ時期になつたのだから、尤もそこまで急に行つたかどうかは知らんけれど——あのフローティング フォワードシステムと云ふものは話には聞いて居たし、説明も聞いては居たが、あんなに旨く行くものとは思つて居なかつたね、人的の要素があつたのかも知れないけれども。

藤田 それはさうでせうね、特に外人のやうに大きい軀でフローティングシステムの技術を持てば威力は大きいのぢやないかと思ふが。——所でかう云ふことを僕は訊きたいのですが、それは今年の

日本のチームの持つて居る力を全部發揮したらオリンピックで大體どの邊まで行けさうですか、どうです、この前ベルリンに行つた和田君、新聞君、概略でもいゝから一つ聞かして下さい。

和田 勿論あのまゝ外に持つて行くと云ふのは駄目でせうが、まああれを改良して笹島さんが言つたやうに日本的なテクニクを混ぜて持つて行きますと、ドイツ、ハンガリーは別として、先づ一流所のフランス、イギリス、チェツコ邊りとは記録上は兎も角相當の所までやれるのぢやないでせうか、スコアはどうか知りませんが——。

笹島 アメリカには勝てると思ひますか。

和田 えゝ、勝てると思ひますね。

藤田 日本はこの前チェツコと接戦をやつたのでしたね。

和田 あれはね、勝てる試合だつたのです。4對3で——今こゝで言つたつて仕方ありませんがね。

藤田 ドイツ、ハンガリーは今でも別格ですか。

和田 負けますね、今でも。

新聞 日本がやつたのはスピードを活かしてノーマークを狙つてやるのですが、向ふではノーマークを作つても平氣なんだからね。ドイツ、ハンガリーには結局今までのやうな唯スピードだけを活かしても駄目ですね。

笹島 フローティング フォワード システムと云ふことがまあ極致と云ふことになるでせうか。

新聞 さうでせうね。

和田 矢つ張りそこに行くらしいです。

笹島 結局體力のあるフォワードと云ふか、フロートの強いね、それに對してはつぶしの強いバツクが居ればいゝわけですね。

新聞 結局あの連中にはフローティングに球を行かせないやうにするのが一番の策戦だらうと思ひますね。

和田 さうだね、いゝパスが行つたら絶對だから。

藤田 話が一寸傍道に外れたやうですが、兎に角日本の今の實力としては先づハンガリー、ドイツには絶對に勝てないが、フランス、イギリス、チェツコあたりには追付けさうだと云ふ所まで持つて來たわけですね。アメリカなどは斷然勝てますか。

和田 えゝ、それにスピスなどは問題ぢやないと思ひますが、この前練習試合でも3對1位で勝つたのですから、向ふはフローティング システムを使つて居たがね。

藤田 大體この項目はその位にして置きまして一流選手の技術が非常に向上したことは確からしいけ

れど、學生聯盟の問題に就て話をする場合二部、三部は一體どうですか。

笹島 二部、三部は非常にレベルが上つたと思ひますね、結局一部の進歩の程度が遅いのは仕方ないから、

藤田 それまでに或程度まで行つて居るんだからね

笹島 さうなんだ、それに對して二部、三部が離れ過ぎて居たのだ、今まではそれらは唯水球試合をやつたと云ふのに過ぎなかつたのが、この頃は兎に角テクニクを、例へばフォワードを活かしてそれにバツクがついて行くと云ふやうな、システムをやつて居ると云ふ肯けるものをやつて居るのですね。

新聞 あれは春の合同練習があつてからですね。

藤田 それぢや丁度春の合同練習の問題が出ましたから、それを一つ續けて頂きたいと思ひますが、一體春の合同練習の効果はどんなものだつたか、若しあれがいゝやうであれば今後も續けて行くかどうか、その點に就て——。

笹島 春の合同練習は幾日位やりましたか。

藤田 期日は十日間でしたけれど實際やつたのは8日位ぢやなかつたかしら。

川田 休みが2日ありましたね。

笹島 どんな風に？

藤田 これはナショナルチームの人に實際に水に入つて貰つて、謂ば手を取つて指導して貰つたのです。學生は各校からテクニクを吸収出来るやうな人を成可く出して貰つてね。

笹島 それはテクニクだけですか、それとも策戦までやつたのですか。

川田 いや、全般的にです。

新聞 この間出た水球讀本の中にありますね、あれを全般的に一通りやつたわけです。

和田 兎に角あれはこれからもやつた方がいゝのぢやありませんか。

藤田 毎年ね。

笹島 僕がさつき言つたやうな二部、三部の進歩が春の合同練習にあつたとしたら、絶對にこれからもやらなければいけないね、春の合同練習の効果があの位に、1年間に10日許りやつてあれだけ効果があるものならばね。

新聞 さうですね。

笹島 どう云ふ練習方法をやつたらいいかと云ふことだけでも分りますからね。

藤田 二部、三部には今までは練習の方法が本當に分つてなかつたので、結局毎年、同じ所を足踏み

して居つたわけですからね。春のリーグ戦の結果を見てみますと、一校二校は全然まだ出来てない學校もありますが、兎に角大部分の學校が水球らしくなつて來ましたね。

笹島 それは事實だね。

藤田 うん事實だよ、三部の試合にも相當いゝのがあつたからね。今までは三部と云ふとインターミドル以下と云ふやうな試合だつたけれども今年の成果を見ると相當なものですよ。

松本 その場合にナショナルチームだけの練習を少しやつて見て頂くとずつといゝと思ひますね。

和田 それは負擔だよ。

川田 古莊さんもね、それをやつてから、合同練習をやつたらと言つて居られました。

和田 それならばそれを纏めて了つて、練習をやつて居る間にやつて了つたら？

川田 後の方は強制してないのですよ、残れる人だけ残つて貰つてね。

藤田 所で時期は何時頃が一番いゝでせう。

川田 3月がいゝのぢやないですか。

松本 去年は3月の終りでしたが。

新聞 後が矢張り引續き出来ると云ふやうな具合にやつた方がいゝですね。

笹島 インドアプールのない所は途切れて了つては困るね。

藤田 リーグ戦が5月の20日前後から開始されますから5月に這入れれば各學校でもオープンでやらなければならないのぢやありませんか、さうすると四月の中旬から下旬がいゝでせうね。

川田 併しその頃は學校が始まりますからね、二部三部の高等學校では出席が相當問題になるので

笹島 古莊さんが12月の初めにこつちに來られるさうで、その時に水球委員會をやりたいと思つて居ますから、よく話して打合せませう。

川田 兎に角ナショナルチームの練習は別にして春の合同練習は休み中がいゝと思ひますね。

藤田 春の合同練習で一番効果のあつた部分と云ふとどう云ふ點ですか。例へば戰法的に非常に進歩したとか、テクニクが旨くなつた、その中でもマークが非常に進歩したとか、シュートが旨くなつたとか。

川田 マークかな。

松本 マークも相當ですね。

和田 僕が考へるのに春のリーグ戦はテクニクだけぢやないか、見様見真似でね、それが秋になつて現はれて來たのだね。

笹島 それは、システムとか、そんなものは他の者を見て居れば分るけれど自分で應用出来ないんだから、實際に合同練習で技術が身に附いてから出来るやうになるんぢやないか。

藤田 それぢや今後の合同練習の方法としても基礎技術を主眼としてやる必要があるですね、春のリーグ前にそれを全部吸収して了つて、試合で試合の運行状態を覺へて仕上げると云ふわけですね。

和田 春の二部、三部のシステムと、秋のものとは随分變つて居ましたね。

藤田 さうすると二部、三部は實戦を餘り踏んでなかつたと云ふことが言へるね。實戦に依つて色々なシステムを覺へたりなんかしたわけぢやないか

和田 さうですね。

藤田 それでは春の合同練習の分はそれ位に切上げてまして、次に今晚の座談會の核心となるべきフロイド先生のコーチの効果に就てひとつ。

笹島 どうですか、フロイド氏の熱心と云ふものはみんな認めて居ると思ひますが、コーチの遣方と云ふものはどうでせう？ 向ふの希望して居る態度にこつちが出たかどうか必ずしも分りませんが、コーチそのものとして今後頼つて行けないと云ふやうな氣持がありますか、どうですか。

和田 僕はフロイド氏のコーチはいゝと思ひます。フロイド氏のコーチの仕方と云ふものはね長い目で見て行かうとして居るのぢやないか、だから初めは斯う云ふことをやるとかして段々に強くして行かうと思つて居るのだね。

松本 さうですね、ちゃんと計畫をたてゝやつて居るのですね、今度は斯う、その次には斯うと云ふ具合に。

藤田 初めは一寸物足りない感じがしましたね。春の第1回の時には。

笹島 あの時はまだスタッフを擇んで居ただね。

新聞 フロイド氏は學生が學校を卒業して了つたらやめて了ふと云ふことを非常に嘆いて居るらしいのですね、自分が指摘した人に今度のオリンピックまでは續けてやつて貰ひたいらしいのです。

笹島 それはこつちの事情が分らないからだらうね

藤田 どうしても今の日本の實情からしたら學生が主になつて、それに若いOBが少し加はる位ぢやないかね。

笹島 今度のオリンピック大會の時も學生中心と云ふことは變らないな。

新聞 どうしてもそれがフロイド氏には分らないらしいですね——結局オリンピック目指してやる

としたらそれに間に合ふやうな選手を擇んでやつたらいいのぢやありませんか。

三橋 さうするとフロイド氏をオリンピックまで呼ぶと云ふことになるのですね。

松本 さう云ふわけです。

川田 一番いいのはフロイド氏の事務所を東京に移させることだ。笑聲

笹島 駄目だよ、あれは満洲國への工業代表だからね。

新聞 併し折角コーチ受けて2年なり3年なりやつて居てもすぐにやめて了ふのでは——コーチ受ける人の人選に就て考へていいことぢやないですか

笹島 それは難しいことだね。仕事があるとね、矢張り現状で一番強い人を選んで行くより仕方ないと思ふね。あなたの言ふのは本當だけれど。

和田 この次のオリンピックでは相當の成績を擧げなければならぬね、日本の水球の爲にもさうなれば違ふと思ふのですが。

笹島 アメリカ、ドイツと二度オリンピックに行つてやつと眼が開けて來たのだからね、それまでは唯オリンピックに行つた人から話を聞いてそんなことがあるのかなあと云つた程度だつたからね。

藤田 空間でボールを遣り取りすると云ふことなんかね——それが今では二部、三部の學生だつて空中でボールを持つこと位お茶の子だからね。

笹島 コツを覚えれば直き出来るのだから。

川田 あのフロイド氏の話が端的に通じないことが非常に困るのぢやないかと思ふね。

松本 この次までに英語を勉強して置きますよ。

和田 今度は大變進歩すると思ひますよ、もう大體の形が出来て居るのだから——。この前の時はフローティングシステムなどは全然知らなかつたのですから、それを見てあゝこんなものかなと思つた位ですから、今度の時にはそれを覚えて行つてやるのですからね。

藤田 その點から言ふと今度のヘルシンキの大會は重大な意味があるね。

和田 さうですよ。

新聞 オリンピックの時にはマークの仕方をうんと研究したらいいと思ふね。

和田 オリンピックの前にうんと練習しなければならないと思ひますよ。

藤田 コーチの効果も春の第1回の時よりも夏の第2回の時の方に顯著ではなかつたかと思ふのですが、私はそのどつちにも参加して居りませんからその練習に参加した人から出来るだけ具體的に話

を聞かして下さいませんか。皆出て居るんでせうこゝに居る人は？ 平野君は？

平野 僕は2回共。

藤田 さうするところに来て居られる學生の方はコーチを皆受けられたのだから感想をひとつ——

川田 言葉が通じないのが一番残念でした。そればつかりがね（一同爆笑）併し熱心でしたね、他の話をするとは話が途切れるのですが、水球の話となると決して途切れることはないですね。

藤田 大體どう云ふ練習をやつたのです？

松本 矢張りテクニクが主ですね、特に左手のテクニクを喧しく言ひましたね。

藤田 左右の手を平均に充分に使へるやうにやらせるのですか。

川田 何でもフロイド先生に訊きますとハンガリー選手は左手の方が利く位に練習するのださうですよ。

松本 だから左手ゲームと云ふ位ですつて。

藤田 さう云ふ練習は今までの日本のチームにはなかつたのですね。

越川 それからシュートの種類が今までよりも殖えたことです、百幾つかあるさうですが、そんなには教へて呉れませんが、又實際に出来なかつたですけれど、唯斯う云ふのがあると云ふことだけは今までやつて居たよりずつと方法が殖えましたね

川田 それからサイドスローと云ふのは僕が教へられた時には禁じられて居たものだが、そのサイドスローも必要な時にはやらなければいけないと云ふのには一寸驚いた。

和田 だからどんなことでも知らなければいけないのだね。

笹島 フロイド氏が言ふのに兎に角日本のシュートテクニクが單純だと云ふのだね。

松本 ゴールキーパーにシュートが分らないやうにやるにはサイドシュートが最もいいんだ。

藤田 日本の水球はロスアンゼルスに行く前はシュートと云ふものはサイドシュートより出来なかつたので、手をはたかれるとコントロールを失つてボールが傍の方に飛んで行つて了ふのだ、所が向ふの連中はオーバーハンドかバツクシュートで、サイドのシュートは餘り見受けなかつたのだね、さう云ふ風な所から先づサイドスローは使はずにオーバーハンドに主力を置いてやつたらいいと言つたのが、段々それが過ぎちやつて——。

松本 フロイド氏の言ふサイドスローは違ふのですよ、どつちの手でシュートするか分らないやう

にやつて置いて、ボールは横にやつて逆に斯うやると云ふのです。

笹島 これからやるサイドシュートは昔のぢやなくなつたのだね。

藤田 昔のサイドシュートはモーションが大きかつたからね。

三橋 マークが旨くなればなる程シュートのモーションを小さくしなければならぬからサイドスローでボールに手をかけたら直ぐボールが飛ぶやうにしなければ駄目だと云ふのです。

藤田 兎に角今まではシュートにバラエティがなかつたと云ふことは事實ですね。

和田 ドイツのシュナイダーのシュートと云ふものは大概サイドからやつて居ましたが、あれで這入るのだから。

新聞 シュートの位置が決つて居るのだ。二つだけなんだ、凡ゆるシュートをやつて見て結局二つ擇んだのだね。

和田 向ふのバツクのループシュートね、あれなんか知つて居て入れられるのだからね。

越川 僕はゴールキーパーの話を知りたいのですが、古荘さんも言つて居ましたがゴールキーパーが弱いとフォワードも弱いと云ふのですが。

笹島 それは事實だよ、ゴールキーパーがたゞフォワードのシュートの練習のバツクボールになるだけぢや進歩しないのだよ。ゴールキーパーがフォワードのシュートをリードするやうにならなければいけないのだ。今のやうにゴールシュートする時にだけゴールキーパーを使ふと云ふのはね、——今はゴールキーパーが入れさせまい、入れさせまいとして居るだけだからね。

藤田 さうすればフォワードが強くなるし、又フォワードが強くなればゴールキーパーが強くなるし兩々相俟つて向上して行くわけですね。

和田 ゴールキーパーの話にばかりになります、ハンガリーあたりのいゝキーパーが一人日本のチームに這入つたらずつと進歩すると思ひますがね、ゴールキーパーがあつたのだと何點日本が入れられるか疑問だな。

藤田 いや、ゴールキーパーに対する觀念が違ふのぢやないかと思ひますね、日本ではスタープレイヤーが居ればハーフにするとか、センターフォワードにするとかさう云ふことしか考へないが、向ふでは先づゴールキーパーのことを考へるからね。

和田 向ふに行くとき先づ日本のゴールキーパーは誰かと訊かれるのです。

藤田 さうすると、フロイド氏のコーチとしてはシュートのバラエティを教へられたと云ふことが一つ、その他には？

川田 パスをうるさく言つて居ましたね。

松本 早くパスすることをですね。

川田 ボールを受取る前にパスする所を見ることを

笹島 先づ見よ、それからボールを受取ることか。

和田 ボールを火の玉と見よと言ふのです。

藤田 ボールを火の玉と見るのはいゝ、それならすぐ放さなければならぬからね——シュートが下手だとか云ふ問題は結局練習が足りないのぢやありませんか、僕の聞いた所ではドイツのチームなんかは一日の練習の殆んど大部分をシュートに費やすと云ふことですが。

和田 やりますよ、キーパーとバツクマンとフローティングと4人がね——。

藤田 だからさう云ふ點を今後もつと強調したらどうですか、シュートの點に重點を置く事としたら？

川田 それからへばらぬやうにすることですね。フロイド氏が言つて居ましたが牛乳を毎日一升位宛飲めつて。

藤田 それは經濟問題だよ。(笑聲)

笹島 僕にも言つて居ましたよ、日本人は柄が小さいのが非常にハンディキャツプだ。それなら大きくなるにはどうしたらいいかと言つたらそれは牛乳を飲めつて。

松本 それから腹が大きくならなければ駄目だ。裸になつてそんな腹ぢや駄目だ駄目だつて。

越川 兎に角シュートを第一にやること、それから見よと云ふことが大切ですね、今までやつたのはこつちはたゞ向ふに投げればいゝと云ふのですね。僕達でもあそこに抛らうと思つて居てやりますと矢張その近所に行きますからね、試合をやつて居る中は中々そこまでは行かないのですが。

川田 フロイド先生は松本君とか名取君が泳ぎ廻るのを餘り認めて居ないのぢやありませんか。

藤田 だからフローティングシステムを勿論併用しなければいけない。特に和田君のやうな優秀な人が出て居るのでから——併しそれだけぢや非常に影が薄いぢやないかと思ふ。最近若山君などは速攻法と呼んで居ますけれど、これとフローティングシステムと併用して、それが完成したならば日本の水球は望みが出て来るのぢやないか。ヨーロッパ流のシステムだけぢや日本は駄目だね。もう一步先に出ることが必要だ。

笹島 兎に角軀の小さいと云ふハンディキャップがあるのだからね、何か日本流のものを創造しなければね。

松本 僕達の動き廻るのが悪いのぢやなくて無駄泳ぎをするのがいけないのだと思ひます。

川田 併し泳ぎ廻ると云ふのは無駄泳ぎにはしる敵に恐威を與へますね。

松本 マークする人がその人より泳ぎが弱い時にはね。

笹島 一種の奇襲だね。

新聞 今度のオリンピックで、さつき云つたやうにフローティングシステムを使つても、マークが一人付いてキーパーが一人居つたらこれはもう無得點だね。

藤田 それだけぢや駄目なんだ。

松本 さうすると若山さんが考へて居るやうなシステムでいゝのぢやないかと思ひますね。フローティングの特徴を活かしてそれに速攻法をやつたらね。

越川 飛出して行つたら必ず點を入れると云ふやうにね、フローティングを固に使つて。

笹島 所謂基礎技術がもつと出来なければいけない。

新聞 フォワードがマークされてゐる場合にはシュートと云ふものは不可能ではありませんか。シュートを出れるやうに泳ぎを使つて離してからシュートした方が効果的だと思ひますが？

川田 それからも一つ先生の言つたのは日本にはハーフバツクが居ないと云ふのですよ、守備ばかりやつて居るが、それを守備四分攻撃六分位に使ふのがハーフバツクだと云ふのです。それは古莊さんなんかも大分言つて居ましたけれど、非常にいい注意だと思ひます。

新聞 ハンガリー、ドイツの連中は無駄泳ぎはしないのだね。

和田 しないね。

三橋 ハンガリー、ドイツはあそこに行けばいいと思つて居るのに向ふに行つたと云ふやうなことがあるかね、日本にはよく第三者が見て居るとさう云ふことがあるものですが——。

藤田 殆んどないね。

笹島 たゞあれヨあれヨと感心して見て居るのだからね。

和田 バツクが抛るでせう。さうするとボウツとしてゐるとすぐにこつちに來て居るのですよ。

笹島 その時には、あなたが球を貰ふでせう。和田

君もやつぱり同じやうに1米位離れて居るのかね
和田 ハンガリーの人は動いて居ますよ。

藤田 味方ボールと云ふことが分つた時の動きは非常にいゝ。又敵ボールだつたらがつちりマークして了ふし、結局ハンガリー、ドイツの試合など見ると水球の原則をそのままやつて居るわけだ。たゞそれが非常に洗練されて居るのだね。

笹島 洗練されて、而も忠實に行はれて居るからね。

和田 向ふのフォワードはフローティングならばフローティングの動きと云ふものがあつて、レフトフォワードならばレフトフォワードの動き、ライトフォワードならばライトフォワードの動きと云ふものがあつて皆違ふのですよ、同じ動きぢやないのです。

新聞 盲パスが日本の連中は多いですね。

川田 蹴球などより餘程パスが正確に出来るわけですがね。今の所吾々よりは慶應の蹴球チームの方がパスは正確だねさう思つて感心しましたが——

三橋 さつきの話、フロインド氏が春早くやれと言つて居ましたね。來年——。

松本 兎に角7月20日にオリンピックが始まるから2月に來て——水溫が冷たいから北海道でやれと言つたよ。(笑聲)

川田 北大の連中は水溫が17度ならば相當の練習をするさうですよ。何でも4月初から始めるさうです。

藤田 4月の初めと云ふと13、4度しかありませんよ、13、4度だと軀が痛いよ。

松本 さうですね。

藤田 では、今年の水球界の動きを回顧すると先づ技術方面ではフローティングフォワードに止めをさしましたね、他に新らしいことを何かやりましたか。

川田 上山君がやりましたよ、和田さんも。

和田 水中テクニクが發達したね。

藤田 フローティングフォワードが發達して來るとさう云ふことになつて來るね。

笹島 どうにかしてそれを止めなければならぬと云ふことになるからね。

三橋 1年位は遅れるかも知れないけれども、どうしても發達しなければならぬものね。防衛することが——、現にオールジャパンにも、東西のインターカレッジの優勝校對抗戦にもそれははつきり出て居るものね。

藤田 さうなれば兩々相俟つて攻撃と防禦が競合しますからね。攻撃、その次には防禦を如何にすべ

きかと云ふことに——。

川田 そこで勢ひきたないことが起りますよ。

松本 さうなると結局レフェリーですよ、笛吹く人の裁斷できたないゲームだと思はれることになるし、それとも激しい気合のかゝつたゲームだなど云ふことにもなつて了ひますよ。

藤田 それぢや最後に一つレフェリーの問題を皆で忌憚のない所を述べませう。

三橋 これは些か難しくなつて來たね。

笹島 レフェリーの問題は結局笛を吹く機會が少ないことに原因して居るね。矢張り自分が笛を吹いて旗を持つて馳けずり廻ることが少ないと自分の缺點が分らないのだ、人の缺點は見えてもね。

川田 レフェリーは先づ見よですね、試合をね。

藤田 今まで學生聯盟では出来るだけレフェリーを澤山養成しよう云ふ建前から審判員を各學校から出して貰つて1,2回づゝ分け合つてやつて居つたのですが、さう云ふのは水球界の現状とは相容れぬわけで、澤山作るよりも優秀なレフェリーを一人でも多く作ることが望ましいのだから來年は一つさう云ふ建前で優秀なレフェリーの養成を圖りませう。

川田 それからレフェリーの規則解釋の相違と云ふことがありますね。

新聞 この程度ならフリースローとか續行とかレフェリーに依つて餘り違つて來ませう。ですからレフェリーが集つた時に相當嚴格な規約を作りましてね——。

笹島 いや、それはこの3人、藤田君、三橋君、僕とで原案を作らうと云ふことを引受けて居るのですがね、そのことは水上聯盟でも必要なことを痛感して、兎に角レフェリーの裁斷と云ふことからレフェリーテクニクを統一するやうに小委員會を作つて具體的方法を作ることになつて居るのです。

笹島 インターカレッヂ同志で人をきらうと云ふことは見てゐて遠慮がありますね、退水だと思つても同僚で言へないのぢやないかと云ふやうな具合に或程度同情する場合も實際ありますね。

藤田 それは或程度ありますね、結局オフサイドとかノーボルトツクルと云ふものはレフェリーの裁斷に依つてどうにでもなるものですから、その點では笹島さんが言つたやうに同僚に對して遠慮するのぢやないかね。

笹島 確かに第三者が上から見て居るとそれはあると思ふね。

三橋 それは痛感して居るけれど今までの習慣が取れないのだよ。

藤田 ノーボルトツクルなどは特に取らなければいけませんよ、ゲームを汚なくする因だからね。

越川 併し一番最初の反則を取り損ふと後は取れなくなるのですね。

笹島 始めに二、三度喧く云ふと、このレフェリー辛いぞ氣を付けろ、などゝ言つて居たがね。

三橋 要するに、今度さう云ふ事も出るだらうと思ひますが、反則と云ふものが、今まではメーヂャーフアウルもオーデイナリイフアウルも皆同じフリースローで反則にして了つて居るからね。

川田 大體レフェリーの意識で言ひますと、水の上で場所があるんですよ、この邊でやつたらこの位の反則、この邊ならこの位とか、この邊だと相當激しい反則がやられてもこれはフリースローなんですよ。

藤田 兎に角點に關係するやうな反則は重く罰しなければならぬね。最近他の競技など見ると、これは偶然の一致かも知れないけれども非常に嚴格になつて來て居るのですよ。例へばラグビーでもサッカーでも、ホツケイでも皆非常に嚴しくなつて來て居ます。

越川 それから一寸氣になつて居りましたけれど、2米線に這入つての退水ですね、あれはゴールスコアラーが合圖しなければ分らないだらうと思ふのですが、レフェリーへゴールスコアラーが合圖して——。

笹島 それはなんですね、條文として出来ないが、レフェリーが前以て自分で援助を求めればね。

川田 あの退水と云ふのは一番面倒臭いですね。はいつてから出る意志はあつてもゆつくり出たりしてね。

新聞 それからフリースローの場合動き廻るのが直らないですね、あれを相當嚴しく——

川田 あれは當然退水だと言つて居ましたね。

越川 さうです、フロイド氏はフリースローの時動いたら退水だと言つて居ました。

藤田 故意に位置を動いたらね。

越川 レフェリーが全體を見られないのだから。

藤田 確かに今はレフェリーの方がプレーヤーより遅れて居ます。プレーヤーがこれに甘んじて、早い話が水中テクニクに長じてこれで足れりとしたら將來日本のウォーターポロの發達が遅れる原因だね。先づその爲にはレフェリーは試合を多く見よですね。

笹島 それには君達練習試合があつたら先に知らして貰ひたいね。

笹島 出来るだけ出懸けて行つて吹かして貰ひたいね。維でも條文はよく知り切つて居るけれどたゞ突嗟に取れないのだからね。

新聞 日本のゲームを本當に笛吹いて取つたら中斷されてゲームが出来ないと言ふのですよ、ボールの無い場所の反則が随分ある。それを一々取つて居たらゲームが続けられないからと言つたことがありますね。

藤田 いつか若山君が笛吹いた時に實に反則が多くてゲームが殆んど中斷されたことがあつたね——併しレフェリーが巧くなればプレーも奇麗になつて來ますよ。

笹島 詰り過渡期の現象だね。

藤田 春のリーグだけでも 50 回位試合があるのだから相當勉強が出来る。それに神宮のプールは見難いからレフェリーの爲めに櫓を作つたらどうですか、——ゴールスロー、コーナースローの判定にはゴールスコアラーに優秀な人が居ればいゝのですが。

笹島 今の人の中にはね、一寸見ると 2 人共ゴールスコアラーがそこに居なかつたり、ゴールスコアラーが應援をやつて居たりしてね。それはレフェリーよりもつとなつて居ないよ。

藤田 相當經驗の深い、レフェリーの出來ると云ふやうな人にゴールスコアラーをやつて貰ふことが必要ですね。

新聞 ゴールスコアラーも或一定の権限を與へられていゝと思ふのですが——向ふの審判の見地から 1 人でやらうと思つたらこれは相當大變ぢやない

かと思ひますね。

藤田 笹島さん、來年はひとつ櫓を作りませんか。

神宮の大きい方のプールでレフェリーをするのは周囲の状況から言つても無理ですから。

新聞 向ふの方で反則やつて居るのを取るのは無理だね。

笹島 おまじないみたいな板を作つてやつて呉れるんだがあれば危くつてね、(笑聲)

藤田 何か他にお氣附きの點がありますか、なければこの邊で速記を切上げて、後は雑談でもしませう。どうも色々有難うございました。

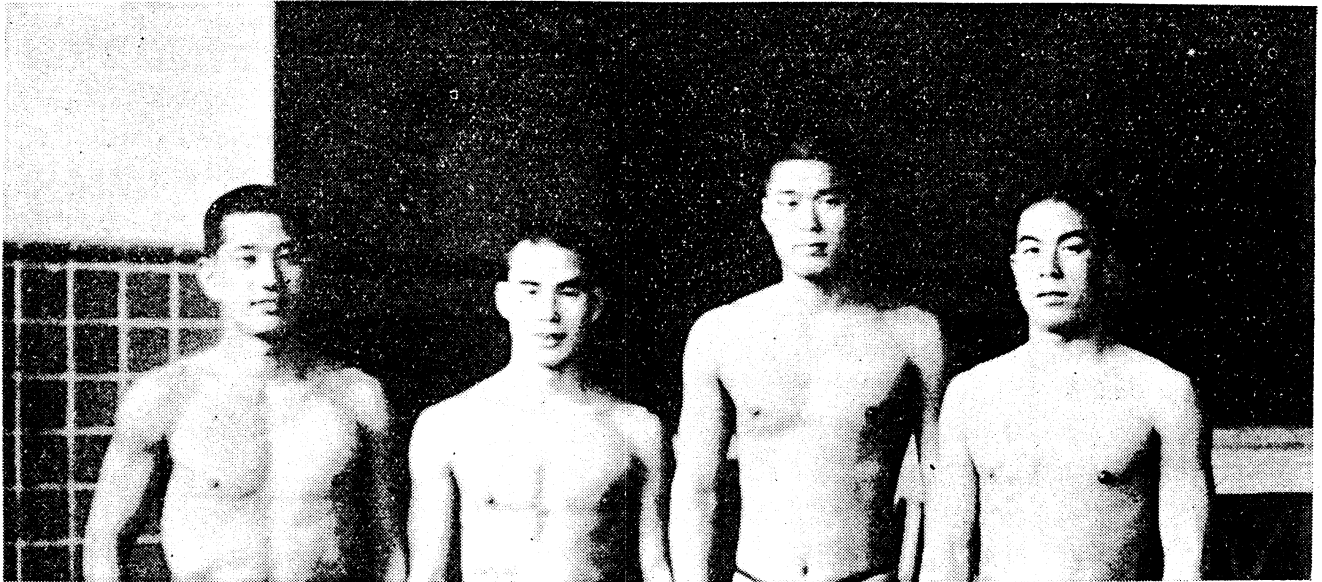
今年にはシーズン中は勿論、シーズン開始以前から我國水球界の發展のために様々な計畫が實施されました。その主なものを挙げれば、フロイド氏の招聘あり、春季合同練習あり、水球祭の催あり、更に技術上の細い問題に到つては枚舉に暇ない程であります。斯くの如く短い期間に數多の問題が提出された。今シーズンを閉るに當り何の反省もせぬと云ふ事はそれ等の計畫を一時的の行事として等閑に附し或は計畫そのものが將來の發展に對して持つ意義を無くしてしまふ結果になるであらうと思ひましたので水上聯盟より笹島、三橋の二氏、並に關東學聯より藤田主事以下水球競技委員の御集りを願ひ座談會を催して、ザツクバランの御批判を仰いだ次第です。誠に残念なことに、今年度ナショナルチームのヘッドコーチとして、斯界のために御盡力下さつた古莊次平氏が東京に居られず、従つてこの座談會に出席されませんでした。出席せられた方々の御意見は皆様の御參考になる所多からうと存じましたのでそのまま水泳に載録致しました。(水球委員)



比島遠征日記

日本大學水泳部

葉室鐵夫・谷口利弘
佐々木 猛・天野富勝



12月10日 土曜日 葉室鐵夫

遠征の日記を書くとするば、どうしても出発前の練習から書かねばならないので、便宜上、土曜日の記録會から始めることにする。

12月5日頃各人が相當の見るべきタイムを出したので、或は新記録でも出るかと思つて居つた。殊に佐々木君の100米57秒6、谷口君の100米背泳1分9秒6等、いづれも記録會當日よりも優秀な記録であつた。

旅券の手續に暇取つて、約束よりも1時間おくれで12時より始めたが、體協、米國領事館と走り廻つた後で、氣分が疲れて、折角期して下さつた役員諸氏に對して、申し譯ない次第でした。

然し、それ等の理由や氣樂な練習の程度から見れば、相當の好記録であつたと思つてゐる。

此の日の午後六時より中央亭で送別會を水聯學聯の方から聞いていただき、末弘先生から、時局の折から此の様な旅行に付いての色々な送別の御言葉をいただきましたが、自分自身に取つては、極東大會の恥を雪ぎに行くと言ふ張り切つた氣持を持つてゐることを付け加へて置く。小池君も今度は負けない様に要心して行つてこいと云つて居つた。

12月12日 月曜日 葉室鐵夫

朝9時頃米國領事館の方に行つて、査證を受け10時頃郵船の方に行くと、船の出帆時間が正午に変更になつたと聞かされて驚いて、大急ぎで横濱に馳け付けて、やつと間に合つた様な譯で、之は郵船の方から通知を出したつもりで忘れてしまつたのださうで、3時にわざわざ送りに來ていただいた方々に對して深く御詫び致します。

ささやかな日大水泳部の選手一同の校歌に送られて横濱を出帆、横須賀の沖を通る頃は天野を一番に佐々木、谷口、いづれも餘り愉快でなさうな顔でベツトに横になつてゐた。此んな時にでもと思つて愉快な様な顔をして、デツキを歩き廻つて居たら、「葉室君」と呼びかけられては見た様な顔だと思ひながら顔をかしげて居ると、自己紹介で、元商船學校で背泳をやつて居られた、上野大藏君であつた福岡縣朝倉中學の黄金時代の選手で、私が中學一年の頃其の名聲をよく聞いてゐた事等を語り合つた。此の船の三等運轉士として先年は濠洲で清川君にも會はれたさうで、上野君の話によると、清川君は濠洲でも例の取つ付きの良さを發揮してなかなかの顔ださうで、濠洲で清川さんと云へば有名なものさうで、外人の方にも非常に評判が宜しいさうで、ダンスパーティーや色々な所へ案内して呉れたとのことからはからずも、清川君の消息を聞いて、此處に書き加

へて置きます。

12月13日 火曜日 葉室 鐵夫

早朝名古屋着、ゆつくりした船旅も又面白さうだ
天野、佐々木君は昨日よく寝ただけあつて、體操を
済ませて、私と谷口君を起しに來たのが、7時、輕
い體操をして、上陸 11時半出帆紀伊半島を廻つて
大阪へ向ふ。

12月14日 水曜日 谷口 利弘

船室の窓から流れ込む朝の光で目を覺す。見ると
船は波止場に着いて居る「大阪だ！」

昨夜一寸船が振れたせいかな今日の大阪着が無暗に
うれしい。上陸準備を急ぐ。

朝の港は又格別だ、冷い汐風を胸一ぱいに吸つて
横濱出帆以來愈々二度目上陸に皆心を躍らした。

時正に午前 9 時 30 分。

正午より甲子園室内プールに於て輕いトレーニング
を行ふ。旅のつかれも見せず皆至極元氣、これだつ
たら相當なる記録が得られるだらうと言ふ自信を愈
確くした。しかし旅はこれからだ。此自信を、此意
氣を、忘れずに我等の使命を全ふしなければなら
ないのだ。

午後 6 時、朝日奈先輩以下諸先輩の歓迎歡送をう
け歸船す。

12月15日 木曜日 晴 佐々木 猛

今日非常に暗い良い天氣でした。

本船に昨夜寝たのは私一人であつた。

葉室、谷口、天野の諸氏は親戚廻を致して居まし
た。午後 1 時甲子園プールにてみな至極元氣にて練
習す。天野は足の「デキモノ」のうみを醫者に取つ
てもらつたと言つて練習を休んだ、マニラに着くま
で完全に治くなる事と思ふ。

夜は大阪水聯の高石さんを初め我々四人の送行會
をやつて呉れた。

天野は今日 10 時 7 分の急行にて門司に發つ、

兄の出征見送りの爲め、

明後日門司にて待合す約束をして發つた。

12月16日 金曜日 葉室 鐵夫

神戸出帆、乗客の半分が、神戸で乗り込むと云ふ
なる程急ににぎやかになつて來た。

瀬戸内海の靜かな航海、一同、今日ならばいくら
食つても船によふ心配も無いし、食欲大いに進む、
天野が居ないのは残念である。

12月17日 土曜日 葉室 鐵夫

17日門司着、九州出身の者が多いので、下船し
て、20日の長崎出帆迄を自由行動として、陸路福
岡に向ふ。

福岡水協の方で集まつて何か話でも聞きたいと云
ふ希望もあつたが、一同がまとまつて居ず、歸路を
約して、19日福岡發、長崎に一泊後、20日正午長
崎を出帆、冬の日本海に稀れな靜かな航海が続く、
遠征軍の一同も全部そろつて、食堂もなかなかにぎ
やかである。天野、谷口も未だ元氣で今の内だと盛
んに食べてゐた。

夕食後、原總監督より、遠征軍結成の挨拶その他
色々の注意があり、非常時スポーツマンの意氣をあ
げる様にとのこと、我々も益々其の覺悟を深くした。

各人の自己紹介をしたが、拳闘、レスリング、バ
スケット、水泳共、二名づつ氣持が悪くなつて代人
の紹介に終つた。水泳は例によつて、天野、谷口で
ある。

航海もいよいよ外國航路らしい色彩を見せて一同
の胸にも、マニラ近しの感を持たせる。

12月21日 水曜日 谷口 利弘

起床午前 7 時、ボーイの運んで來てくれた紅茶に
のどをうるほすと、直に上甲板に上つて朝禮、續い
て朝のトレーニングを開始す、すがすがしい太陽の直
斜を浴びて船は南へ南へと進路を辿つて居る。うす
ら寒い朝風を切つてランニングシャツ一枚で甲板を
かける、一回、二回、三回……遂々つかれて伸びて
しまつた。青龍も雲を得ざれば勢なしとかや、我々
は海原の唯中に居ても泳げぬ悲しさをつくづく痛感
した。正午過ぎる頃、今まで空模様は一變してしけ
模様となり海には無氣味な波がさわぎ始めた。

物すごい西風にあふられて船は大きな振動に震ぎ
出した。

さあ大變！ 先づ青くなつたのは天野だつた。次
は？ 風は夜になつても止まなかつた。

僕は、寝た、そして空いたお腹をおさへながら靜
かに波のしづまるのを待つた。

12月22日 木曜日 (風雨) 佐々木 猛

今朝からの西風に船は大分あふられて居る。

朝の食事の顔ぶれを見る少い。

天野、谷口氏等は朝から一日中食事を取らずのび
て居た。他の部の選手も大部分はのびて居た。

小生と葉室氏は至極元氣で居る。

船は一日中大きな振動で左右にゆれて居た。

12月23日 金曜日 天野 富勝

愈々マニラへマニラへと舟は進みます。氣はあせつて参ります。今日は朝から空は青々と晴れ渡つた。然しどうした事か、海は荒れてきた！ 僕は横濱を出帆した時より、ずつと酔ひ續けだ！ 何んで河童が此んなに舟に弱いのかと思つたら、泣きたくなつて参ります！ 朝から、甲板に出た限り、三度の食もろくに喰べなかつた。此の儘波が荒れたら、此れこそ骨皮筋右門になつてしまふ、と思へば又泣きたくなつて参ります。船長に尋ねたら、明日は水を流した如く、静かで船はゆれないと言はれた。其の時の僕の心持を想像すれば、ほんとに、沙漠に於て、人々が喉のかはいて居る時に、水にありつく様な物だ。明日迄頑張らふ明日からは人一倍喰つてやるぞ、こふ心の中で思ひました。横濱を出發して以來どうもホームシックに罹つたらしい。さあ今日は、しかたなし、重い頭を抱へて、甲板で寝るより仕方がない！ あゝ舟はにが手だ！

12月24日 土曜日 葉室 鐵夫

早朝香港着、一黨恐る恐る上陸する、支那人の目が何だか恐い様だ、案内知つた街故、充分歩き廻つて、十二時出帆する。

船に来る例のチエインヂ マネイ、の連中に換へてもらふと、日本金10圓が、香港金6圓30錢だつたが、正金銀行に行つたら、香港金8圓69錢に換へて呉れた。

出帆後、段々船がゆれ始めて、今度は、左右でなくて、前後に大きくゆれる、天野、谷口は、全々起られなかつたが、大分なれては居るものの氣持は良くない、佐々木が一番元氣で飯を食つてゐた、食堂はバスケットが全部駄目で、レスリンクが一番出て来る、次が水泳の佐々木、葉室二人だつた。

クリスマス前夜も甚ださびしいものだつた。

12月25日 日曜日 葉室 鐵夫

谷口、天野は、昨日から何も食はずに寝てゐたので代りに書くことにする。船のゆれ方は益々ひどく終日、前後に大きくゆれる、食堂で飯を食べるのが困難だ。下る時は、よいが、持ち上げられる時は、のみ込みかけた飯が又食道を上昇する様だ。

天野は、晩飯に勇氣を出して食堂に出たが、スープを飲み終る迄に悲鳴をあげて、オレンジを持つて飛び出し、一晩デツキの風當りの良い所で明した。

歸りもゆれたら之にかぎると大きなことを云つて居つた。各チームの人が参つてゐる連中に、菓子や

果物を持つて行つてやつてゐるが、さすがに有難さうな聲を出して居る。

マニラに近づいたと見え、ものすごい暑さだ。

12月26日 月曜日 葉室 鐵夫

明けると、昨日の荒れは忘れた様に静かで、からりと晴れて、ものすごい暑さ、参つた連中は、暑さならばいくらでも我慢するから、どうぞゆれないで呉れと。

呂宋島が左に見えだして、波は益々静か、食堂は目の廻る様ないそがしさ、二日分をつめこんでゐる連中が3分の2はゐるのだから無理もあるまい。

デツキも大にぎはひで、各チームのトレーニングもものすごい。

夜6時頃、マニラの燈が見え始めた、荒天のため船がおくれて終に、本日中に上陸出来ず、マニラの燈を眼前に見ながら船に寝る、然し、船は止つてゐるし、涼風の中に見えるマニラ、極東大會の時のことが眼に浮んで来る様だ。リザールの濱邊に出て歩いたあたりが見える、豊田先輩からの手紙で、我々のマニラ遠征を知つて、リザールの濱邊で寫眞を撮つたり散歩したのが一番思ひ出に残ると書いてあつたが、全く、今眼前にあの濱邊を見ながら4年前の追憶にふける、上陸を前に、荷物の整理にいそがしい中に、熱田丸の中の最後の晩を充分惜しんで12時過ぎ寝に付いた。

12月27日 谷口 利弘

愈々今日は上陸だ、昨夜宋に着くのが晚かつたにもかゝはらず、皆興奮の眼を早くから覺して、甲板へ出た。昨夜のぞいた赤青黄のネオンサインも消え去つて、静かな眠から覺めるマニラの全市が、そして其間々に綴る熱帯樹の緑が、いやが上にも我等の心をそゝつた。

午前8時、一同は愈々比律賓群島に上陸第一歩を印すべく準備を急いだ。パスポートの検査、手荷物の檢閲、形だけの手續を済して愈々熱田丸に別れをつげた。

始めて見る亞熱帯の町、緑におほわれた其鮮彩な建物はさながら南のパラダイスに相違なかつた。

眞近に照りつける太陽の直斜、そして椰子の木蔭に胡弓を抱く土人の聲も又あわれである。

我等一行は道行く人の色の黒さに驚歎の目を見はりながら、フィリピン體協の人々に迎へられて、日本クラブに到着した。

思へば永い永い(僕にとつては)旅だつた。しか

し船に酔つた苦しさも旅愁も今は何でもない。これからは愈々僕等の仕事だ。

水上日本の眞義を發揮すべく、明日への精進を怠つてはならない。

12月28日 水曜日 佐々木 猛

我々四人はマニラ上陸の最初の一夜を日本俱樂部で明した、朝7時30起床、宮城遙拜、朝食8時、晝食12時、午後1時より2時半、練習30—5時午前練習10時より11時、夕食6時のスケジュールを作り、今日より急實行する事にした、午前中は、日本選手一同フィリッピン體育會長の所に御挨拶に行った。

夜は8時半より我がバスケツトとフィリッピン選手とマニラ上陸第一回目の試合を見物に行つた。39對27にて優勝す。

12月29日 木曜日 天野 富勝

愈々マニラ上陸しての第二日目である！自分達が出發以來頭の中に感じて居た通り熱帯植物が處々方々に繁茂して居る！流石は熱帯地の感がある！今日は拳闘とレスリングの試合である！我々は夜8時會場に集合した、明日は僕達の試合である！今日の試合程興奮した時はなかつた！流石が相手が外國人であるからだ！仲々フィリッピン人も強い！然し我れには、日本魂が宿つて居るのだ！如何なる事があらふとも、決して決してひけを取らないだけの自心はある！皆んな日本の爲めに頑張つてくれた。外國の地に於て日本人が、日本の聲で！頑張れ！と言つた時程感かへの深い事はなかつたとオリムピック等では、此の倍位いであらふと想像した。さあ愈々明日は上陸第一日目の試合だ！勝つか負けるか判らない！なにしろ上陸して、未だこれと云ふ練習もして居ないから、調子も判らない、負け勝ちは度外視して、一生懸命闘ふ決心だ！

12月30日 金曜 31日 土曜

葉室 鐵 夫

27日到着で、30日に競技とは少しひどすぎるとも思はれたが、向ふで定めてあることだし、それに各人一種目だけに出場して呉れとのことで、最初の内は、天野は全々水に乗つてゐなかつた、兎に角負けたと云ふことになつては居るが、私が見てゐたのは、たしかに、タツチは先にしたと思ふ。然し、頭一つだけ負けてゐて、同タイム、タツチの差で勝と見ることは、比島の審判技術では到底不可能であら

う。然し、以前よりは（極東大會當時）は随分其の技術も進歩したと見られる。

一着 サウデイン

二着 天野

100米背泳は、ジキラムが平泳より、短距離に轉向し、更に背泳に迄進出し、比島短距離、背泳のナンバーワンとして活躍してゐるのであるが、其の泳ぎや練習振りを見ても、前に出した1分13秒は、出ないだらうと思ひ、谷口が1分13秒以内で泳いだならば、勝てると思つてゐたが、前半谷口半艇リード、33秒3、75米邊で、ジキラムがスパートして谷口に迫つたと見えたが、谷口ラストの頑張りを見せて、一艇身の差で勝つ。

一着 谷口 1分10秒6

二着 ジキラム 1分11秒7

谷口の1分10秒は、2週間の船旅、船中全々練習する機會なく、長崎出帆以來、船よひでほとんど寝たきりであつたのを考へれば、眞に偉くするに足る。兒島君に泳がせたとしても、此の條件では困難であつたかも知れない。

ジキラムの1分11秒も相當のものだし、三着の1分13秒も立派なものだ。

31日は、佐々木の100米、葉室の200米平泳、一日だけ餘計に練習出來たのだから大分自信の付き方が違ふ、此のあたりの一日と云ふものは随分大きな影響がある。

佐々木は、前日ペースを作るために、50米のタイムを取つたが27秒0で、1分を切れるかも知れないと云つて居つたが、1分0秒3、先づ、普通の所、平泳は、私の経験で、他の人よりも調子が出るのがおそいだけに、心配してゐたが、前日800米を泳いでやや自信を付けた、其の100米を1分22秒で入つたので、レースの時、前半の100米を1分20秒で入り、2分50秒だらうと豫想し、若し之で負けたならば、練習が強くないから仕方がないとあきらめるつもりであつた。2分49秒だから豫想よりも1秒だけ良いわけである。

一着 葉室 2分49秒6

二着 ボナス 2分57秒

此のレースは、インターカレッツで、リレーは、一着10點、二着6點、（二組出場）、他は、一着5點、二着3點、3着2點、四着1點で、U・P（ユニバーシティー・オブ・ヒリッピン）が28點で優勝、日大、サンペダ18點と云ふ成績であつた、後で考へてみると、なる程、リレーと1,500を遠慮して、ヒリッピンの選手にチャンスと與へてくれと、例の

伯林に来てゐた、監督が云つてゐた言葉がなる程と思はれる。

大晦日の風影は、各々、忘年の意味で馬鹿さわぎをする。色んな紙製の帽子をかぶつて、ラツパや、爆竹を鳴して、其のやかましいことと云つたら、先づ何とも形容出来ない位で、なかなか見物であつた。

昭和14年1月1日 谷口利弘

今日は正月である、だのにフィリピンの正月は又殺風影な事。朝から洋食で食事を済まし、領事館の拜賀式に参列す、吸みかわす年始の酒に内地の正月を忍びながら、さゝやかなかながらも、此所に昭和14年度の春を迎へたのである。暑い暑い正月であつた。午後リザールプールに於て軽い泳ぎ初めを行ひ、明日への出発の火蓋を切つた。

昭和14年1月2日 晴 佐々木 猛

正月第2日目、朝6時に起床し、我々水上とバスケットボールの選手17名はマニラの避暑地バーギユウと云ふ所に一晚宿りの見物云々、避暑に行く事になり6時50分發の汽車でマニラを發つた人員の都合上水上は汽車でバスケット選手は自動車で行く事になつた。

午後1時頃、バーギユウに着いた、ジクラーグの山道をかれこれ1時半、自動車で行く時の愉快な気分良事何んとも言へない気分であつた。丁度日本の輕井澤みたいな所である。なかなか氣候も良く、日本みたいな感じのする所であつた。バーギユウは人口約一萬近くあり在留邦人が一割を占めて居るそうだ、我々は其の夜リザールホテルに宿り、其の一日を楽しく過した。

昭和14年1月3日 天野 富 勝

昭和13年も終りを告げた！今年こそ頑張るぞと、葉室主將を初めて、他の我々は一月初旦雑煮を喰べて誓つた！日米對抗があるからだ！

昨日バギユと言ふ所に避暑に行つた、此んな所を僕は未だ見た事がない。大した物だ。今日はバギユに別れを告げて歸途についた。自動車の飛ばす事。又此んな無茶な自動車にも乗つた事がない。又大へん道が能い！道だけは立派なものだ！如何なる所にもアスファルトだ！今日は8時半よりレスリングと拳闘がある！我々は希望をもつて、日本俱樂部に歸つた。

1月4日 水曜日 葉室 鐵 夫

バギユより歸つて、再びプールへ、休養も、餘り早過ぎてはかへつて、今迄の出掛つた調子を又もともどす様なものだつた。

殊に天野の様な年少、長距離選手には、なるだけ休ませない方が良い様だ。

午後は比島の選手が大分泳ぎに来てゐて、プールもにぎやかであつたが、比島の選手の練習を見てゐると、飛び込むと1時間位水に入つたままで、最初400米泳いで、次に米國の選手がやつてゐた足の練習、最後に又400ばかり軽く泳いで終りで、其の間時間を計ると云ふ様なことは全々ない。

練習法でも、少し日本の選手のやり方を研究すれば、もつと早くなるのだらうけれども、大した熱もない。マニラでも、水泳の強いのは大抵モロ族で、マニラ附近のタカログ族は、大して泳げるのはゐないさうで、イルデフオンソ、ジキラム、アリ等は皆モロ族で、

現在、ジキラムがサンバダ、にゐるし、ユニバーシチー、フィリツピンの長距離のナンバーワンのサウデンもモロ族である。

1月5日 木曜日 谷口利弘

例によつて午前10時より練習、朝飯がパンと果物だけなので、どうも腹が空いて泳げない。400も泳いだら目がふらつきそうだ。皆軽いトレーニングで朝の練習を切上げる、充分なる腹ごしらへと共に午後4時から再び練習開始、マニラとしては珍に見る涼しさ、水温も、豫想外のいゝコンディションである。

選手権を目指して練習して居る各大學の選手と一緒に泳ぐ。皆眞黒な顔！等、しかし僕等も今ではそれに劣らぬ程日にやけて來た。フィリツピンの選手だと言つても別に不思議はない位だ。練習後各人の調子を見る爲にレコードを取つて見た、概して良好であつた。

葉室 400米 6分15秒0

佐々木 200米 2分19秒0

天野 400米 5分14秒0

谷口 50米 31秒6

以上

1月6日 金曜日 佐々木 猛

朝選手一同9時半よりU・P(フィリツピン大學)を見學に行つた。プールはなかなか見事な物であつた1924年に出來たプールで、歴史的プールだそうです。又、マニラ葉巻製造所を見學に行き、

午後3時より練習、近頃だんだんと調子が良くな

つて来た様である。

夜7時より日本人倶楽部にて日本人の我々の歓迎會があつた。

1月7日 晴 天野 富 勝

今日はレスリングと拳闘の最後の試合だ！

我々は一日中張り切つた氣持で、試合のあるのを待つて居た。愈々試合の時間が切迫した。日本選手は元氣一杯であつた。時間は来た今日が最後であるのが、選手の元氣の良い事大した物だ！ 全勝に終つた！ さあ僕達の試合も近まつた元氣一杯頑張らふ。

1月8日 日曜日 葉 室 鐵 夫

イロイロ行が中止になつて、我々は、パクサンハイへ、エキジビションを兼ねて、保養の旅行に行くことになつた。

早朝、倶楽部を出發、少し雨が降つてゐる中を、2時間半ばかりで到着、ホテルで1時間ばかり寝てゐると外で、ハイスクールのバンドが歓迎の行進曲を吹奏し初める。

競技場は、此の街を流れてゐる川で、見物は兩岸並に橋の上から歡聲を上げてゐる。

きれいかざつた、カヌーに乗つて、下流のスタート臺に行く、スタート臺と云つても、カヌーを二つ並べて、それに、板が敷いてあるだけで、川は幅5~60米、兩岸は、ヤシ、バナナ等の木が、茂つてゐるし、上流から持つて来るヤシの實のイカダがいくつもある、先づ猛獸映畫に出て来る川そつくり、水がつめたいので、ワゝは居ないさうだが、氣持の悪いことおびたしい。

其の内に、競技が始まるのだが、スターターは、先年伯林へ来てゐた。ドクター、ピストルは實ダンと云ふものすごいもので、100米上流に竹に赤い、旗がさしてあつて、それを廻つて来るのだと云ふ。

葉室は、平泳のマニラのナンバーワンたる、ボーナスと一緒に泳ぐ、所が、ボーナスは旗を廻はらずに引返したので、やつと追ひ付いたと思ふと、又10米ばかり負けた、ラストパートを流れに乗つて、掛けてやつと追ひ付いたが、ボーナスが、曲つて来たので、ゴール前45米で中止、新聞には、葉室敗ると出てゐたさうだが、馬鹿らしくて、泳げなかつた位、然し、天野、谷口は、中學時代、川で泳いだことがあるだけに、實に見事に泳ぐが、葉室、佐々木は、水に乗れずに苦戦であつた。

然し此の様な競技會は、一生の内にもう經驗する

ことは出来ないかも知れない。

終了後、其の川を、上流に向つてカヌーをやつてさかのぼる。之は日本ラインや、保津川など問題にならない位のスリルを味へる。兩岸が段々高くなつて、100米位の谷低を、どうして舟が上れるかと思はれる急流を、上るのだから痛快だ、急流に來ると、カヌーの前後にゐる土人二人は水の中に下りて舟をさかのぼらせる。終には、乗客は舟から下り、岩づたひに歩き、其の間、土人は、繩でひつぱつたりひきづり上げたりして、最上流の瀧送り行き、今度は、其の急流を、矢の様に下るのである。天野と佐々木のカヌーは途中轉覆したが、少々ひやりとさせられた。夕方、パクサンハイのハイスクールのパーティーで歡待されて歸る。

1月9日 月曜日 谷 口 利 弘

試合と言つてもお話にならぬ位の悠長さ、エキジビションと言ふより、むしろ昨日は休養の一日だつた。

今まで張切つて来た氣分を一時轉換して、今日から又新しい精神と體力下に愈々迫る選手權目指して精進する。

今日は、リザールプールが水替なので、フィリピン大學水泳コーチヤの世話でフィリピン大學プール(25米)にて練習す。皆大分水に乗つて来た様だ。特に天野なんかもう今では試合に出ても後れを取る様な事は絶対にあるまい。皆努力の程が伺はれる。

これが日本大學はもとより、日本を代表して來て居るだから、インタカレデよりも、全日本選手權におけるよりも、尙我々の責任が重且つ大なる事を覺ゆる次第である。

1月10日 火曜日 佐々木 猛

今日も又U・Pプールに於いて午後3時より練習するので、午前中は何にもする事なくのんびりして居た。午後3時、U・Pの自動車を迎へに來て呉れ練習する、練習記録、100米平泳(葉室)1分13秒1、100米自由型、(佐々木)58秒6、400米自由型、(天野)5分1秒7、と云ふ記録を出し、我々はだんだんと本調子になつて來た。

1月11日 水曜日 天野 富 勝

今日は、プールが水換で、午後フィリピン大學に練習の豫定だから、午前中は休みだ、僕達四人は今地さんに連れられて、エスコルター(フィリビ

ン)の銀座に買物に行つた、愈々明日からはプールにも水が入るので、一生懸命頑張る決心だ。

1月12日 木曜日 葉室 鐵夫

いよいよ、リザールプールに水が入つて、試合前の慎重な練習を始む、水温が少し低く、水が素晴らしくきれいなので、日本で泳ぐのと、ほとんど變りがない。極東大會の折は、未だ水道の水がきたなくて、眞白だつたが、プールにも浄水装置が出来て、(之は濾過するのでなくて、鹽素液が少しづつ、常に流れ込む様になつてゐるのである)氣持が良い。

午後、14、15日のレースの400、1,500だけの豫選があつて、天野だけが泳いだ、調子も回復して、4000、5分5秒7、1,500、1,500、20分7秒で、決勝に於いては、400、5分以内、1,500、19分30秒以内の自信を付けた様だつた。

佐々木が50米26秒2、夏よりも調子が良いし谷口50米31秒2、之も同じ、葉室、100米1分14秒0で、短い練習で、耐久力は未だ不足ではあるが、相當のスプリントと調子は出て来た。

1月13日 金曜日 谷口 利弘

灼けつく様な太陽の直射を浴びて朝の練習にとりかゝる、昨日迄はレスリング、ボクシングの選手達がプールに来て居たので互になごやかな練習をやつて居たが、今日から各チームの遠征によつて僕等4名だけがプールの中にとり残されてしまつた。

試合を明日ひかへて、愈々我等の心は殺風景になつて来た。でも張切つた各自の其氣持は飛沫を浴びてダツシュする中にも充分現れて居る。午後は各自のスケジュールに従つて、僕はロング佐々木はダツシュ、天野は足の練習等、明日、明後日を如何にして最好コンディションに持つて行くかに、各々腐心した。

しかも各自の調子も今では概して良好だ。或は夏シーズン以上成績が得られるのではあるまいか。

1月14日 土曜日 佐々木 猛

今日、明日と2日間に渡り全フリツピン選手權大會が開始される、今日の出場種目は天野の1,500米決勝、佐々木100米自由型、葉室主將の200米平泳等何れも決勝が今日あるのである。

午前中、軽いトレーニングをして、午後4時半より100米自由型豫選より最初の飛沫をあげ、佐々木60秒3の記録で決勝に進み、決勝で59秒5の記録を出す。

天野1,500米で20分7秒の記録を出す。

葉室200米平泳で豫選2分55秒決勝で2分45秒7の記録を出し各人フリツピン新記録を出した。

我々シーズン外の記録としては成績は良いと思つて居る。

1,500米 決 勝

- 1 着 天野(日大) 20: 7.1
- 2 " Sanin (UP) 20: 51.9
- 3 " Villmenenen 21: 31.0

100米自由型決勝

- 1 着 佐々木(日大) 59.5
- 2 " Jikirmu 1: 00.5
- 3 " Palileo (UP) 1: 02.1

200米平泳決勝

- 1 着 葉室(日大) 2: 45.7
- 2 " Jikiwn 2: 55.8
- 3 " P. Bones

以上

1月15日 日曜日 天野 富勝

今日は、全フリツピン大會の最終日である。愈々今日で試合も終つて、明日は、待ちに待つたる、日本へ歸るのである! 胸は躍る! 今日は400米である。上陸第一戦に敗れたので、僕は此度とは意を強めて、試合に望んだ! 結果勝つには勝つたが、5分は切れなかつた! 未だ未だ調子が恢復しない! 次は、谷口さんは、バツクだ! 此れも好適手ジキラムが出場しなかつたので、記録が悪いかと思つたけれども、何んと、1分9秒、人々は驚きの外はなし、次には800米リレである! 此の試合程面白かつた事はなかつた! 愈々試合も終つた。

明日は、日本に出發だ!

1月16日 月曜日 葉室 鐵夫

ジキラムとの約束で、10時より、サン・ペダ・カレツヂで、エキシビジョンを行ふ。天野は都合悪く行けなかつたが、ジキラム始め、皆非常に喜んで呉れた。午後4時、ユニヴァーシティー、ヒリツピンのパーティーで、又歡待されて、夜は、バスケットボールのコーとで、體協日米比の選手(米國バスケットボールゲームが15日到着、日本バスケットチームは1週間出發を延すこととなつた)指待のデナー。終つて、3週間の思ひ出の日本俱樂部を後に、賀茂丸に乗船、17十七日午前1時出帆。



ハンドレー氏の週刊 ニュースより

清水 康 男

○ヘヴェガー嬢プロ転向を拒絶

コペンハーゲン發電に依ればデンマーク水泳界の女王ヘヴェガー嬢は或る筋よりプロフェッショナルになつて米國に轉戦すれば百萬デンマーククローネの賞金を提供すると言ふ申し出でを拒絶したと言ふ。之は汽關車のエンジニヤである同嬢の父の反對の爲であると傳へられる。

○一九三八年度の國際水泳界に於ける オリムピック種目では日本が斷然優位

日本水上競技聯盟、外國關係委員の報告せる昨年度の日本に於ける屋外水泳シーズンの全記録を見るに「日出づる國」の水泳人は六つのオリムピック種目中四種目迄最優位を占めてゐる事を明かにしてゐる。100米自由形の國際的分野は相變らず新井茂雄君の58秒0に依つてリードされ、1500米自由形に於いては若冠天野富勝君が18分58秒8と言ふ驚異的世界新記録を樹立し、200米平泳では葉室鐵夫君が2分42秒2でその衰へぬ強味を見せて居る。就中200米自由形の記録が日本は800米自由形リレーに斷然たる強味を増したと言ふ事を物語つて居るのは正に注目し價する事である。新井君の2分9秒6(長小路世界最高記録)を始め、杉浦君の2分15秒0、佐々木君の2分15秒4、宮本君の2分15秒8等が總て長水路のプールで作られた記録であると言ふ事は脅威である。此の4名のタイム合計は、日本リレータイムが8分55秒6の實力ある事を示し、その平均タイムが2分14秒弱である事は、25碼プールで泳ぐ220碼のタイムに換算すると2分10秒の實力であるとも言へるものである。他の何如なる國の選手も4者の平均タイム2分17秒以上を出し得るものは現在の處無いと言ふ事を以てしても日本チームの實力の程がしのばれるのである。

○デュツセルドルフ國際女子競泳大會

フレゲレン嬢200米背泳世界新記録を更新

先年10月、獨乙デュツセルドルフで舉行された

國際女子競泳大會に和蘭陀のイダ・ヴァン・フレゲレン嬢は200米背泳を2分40秒6で泳いで従來の2分41秒3の世界記録を更新した。なほ當日の他の目星しい記録は左の通り。

○220碼自由形

ランヒルド・ヘヴェガー嬢(デンマーク)
2分25秒9

○100米自由形

ヘヴェガー嬢 1分7秒3

○ハノーヴァー市水泳カーニバルに於ける バルケ君の200米平泳に於ける短小路世界 新記録

昨年11月獨乙ハノーヴァー市の短水路プールで行はれた競泳カーニバルの主な成績左の如し。

○男子200米平泳

ヨアヒム・バルケ君(獨乙)
(短水路世界記録) 2分37秒8

○男子100米平泳

ヨアヒム・バルケ君(獨乙) 1分10秒7

○男子100米自由形

ホヱイン君(オランダ) 62秒3

○女子100米自由形

ヘヴェガー嬢(デンマーク) 1分7秒5

○女子400米自由形

ヘヴェガー嬢(デンマーク) 5分17秒0

○女子100米背泳

トーヴェ・プルンストロム嬢(デンマーク)
1分19秒1

○女子200米平泳

インゲゾーレンゼン嬢(デンマーク)
3分6秒5

○彗星的に現はれた「米國バタフライの少女」

インディアナポリス體育俱樂部より此の程、パティ、アスピナルと言ふ本年取つてまだわづか12歳と言ふ豆女子平泳選手が現はれ、先日彼女の正式に

出場した初めての100米以上の距離のレースで、従来2分56秒0であつた米國の女子短水路200碼記録を見事破つて2分55秒4で優勝し、此の種目の世界記録2分42秒6に迫り關係者間にセンセーションを巻き起した。同嬢は全距離をバタフライで通したものでしかも日常の練習では毎日880碼宛バタフライで苦もなく通すと言ふ體力と相俟つて同嬢の將來とヘルシンキ、オリンピック大會に於ける活躍は大いに期待されてゐる。

○フエゲレン嬢の活躍

先年末アムステルダムの短水路プールで行はれた水泳大會でオランダの背泳の女王イダ・ヴァン・フエゲレン嬢は200米背泳に、同嬢が昨年10月、獨乙デュツセルドルフで作つた2分40秒6を更に破つて2分39秒0の驚異的世界新記録を樹立した。

○ヘルシンキ、プール冷水の懸念解消

1940年度オリンピック開催地であるフィンランドヘルシンキのプールは緯度の關係で水溫が極めて低いであらうと言ふ事は來る可き同大會に覇をねらふ各國選手共通の頭痛の種であつたが最近エール大學のキツバス氏の調査した所に依ると同プールは既に

起工されたが竣工の曉には最新式暖房装置を完備するとの事である。

選手諸君は御安心あれ。

○チツク選手の引退聲明

ベルリン、オリンピック大會の華とされる男子100米自由形競技で見事覇權を握つたハンガリーの至寶チツク選手はその後も相變らぬ強味を見せて活躍を續けて居たが同選手は醫者を業として居り最近業務の多忙により充分なる練習時間を取り得ぬからと言ふ理由で同國水泳界より惜まれつゝ此の程、公式競泳會からは引退する旨發表した。

○メデイカ選手の復活

一昨年日本遠征の歸途より體の調子を害してしばらく競泳界より身を潜め、其の再起を絶望視され一部に於ては彼の正式引退をさへ傳へられて居た吾々には御馴染のジャツクメデイカ選手は此の程ニューヨーク市に職を得たかたはらニューヨーク體育俱樂部に入會再度オリンピックの覇權を目指してカムバツクの猛練習を開始し、復起後初めての、同俱樂部25碼プールで開かれた競技會で、440碼を4分57秒8のタイムで優勝した。

本聯盟役員出征者通信(其三)

大井 忠 紀

拜啓 御無沙汰致して居ります。すっかり寒くなりました。相不變御元氣に日々を御過しの事と思ひます。小生入隊來3ヶ月第1期の檢閲を終えて、愈々出征する事になりました。行先は判然と分りませんが中支ではないかと思ひます。では元氣で行つて参ります。水上聯盟諸氏御健康と御多幸を祈ります
敬 具

河津 憲 太 郎

前略 先日は機關誌どうも有難う御座いました。丁度演習に出掛けた先に轉送され、大變懐かしく讀みました。水泳關係者も相當引張られて居りますね記念寫真一葉お送り致します。幹候をやらないので未だ一等兵です。皆様によろしく。軍隊に入つて東京を思ひ出して仕方がない。さよなら

二仲 意義ある年を迎へる様遙かより祈上げます

賀 正 岡 本 勁 一

出征以來御無音に打過ぎ居り候も皆様御變りなく

御活躍の御事と拜察仕候。小生も支那事變第三年の春を迎へ益々元氣に御奉公致し居候間御安心被下度揚子江畔より遙かに皆様御健康を祈り居り候。

賀正 14 年元旦 内 山 次 郎

島崎氏には太倉、南京、蟬蛙で會ひました。とても元氣でした。こちらも近く退院の豫定です。2月に負傷してもう10ヶ月になりました。

謹賀新年

河津 憲 太 郎

聖戰第三年を迎へ銃後の固め益々固からん事と思ひます。當方は除夜の鐘は銃砲聲で一寸乙なものです。

豚も鶏も居なく又一切徵發禁止、宣撫第1です「南部戦線異状なし」唯一の慰みは便りを書く事と、それより増して便りを頂く事です。

遙か〇〇より皆様の御多幸を祈り上げます。

不 備

臨時代議員會議事録

昭和十四年一月十八日

於丸ノ内 中央 亭

出席團體並に出席者

所	屬	氏	名
NSR	會長	末弘	嚴太郎
	評議員	石本	巳四雄
	評議員	田畑	政治
		奥野	良
	名譽主事	野田	一雄
	名譽會計	大橋	國太郎
	理事	原秀	夫
		笹島	彦次郎
		松浦	武雄
		田澤	正松
		内館	毅
		保谷	俊平

代議員 (26 團體 29 名)

北海道水上競技聯盟	田澤	正松
岩手縣水泳協會	内館	毅
福島縣體育協會	保谷	俊平
茨城縣體育協會	小林	三次
關東水泳協會	小遊	佐正憲
橫濱水泳協會	白山	源三郎
新潟縣水泳協會	小野	塚一郎
野尼湖游泳協會	高橋	庄三助
松本水泳協會	小林	高志
靜浦游泳協會	齋藤	亨、小池禮三
濱名灣游泳協會	山本	操
石川縣體育協會	柴原	恒雄
名古屋體育協會	齋藤	劍次、奥田正勝
三重縣水泳聯盟	小出	義彦
京都水上競技聯盟	木村	象雷
大阪水泳協會	藤田	明
兵庫縣體育協會	石田	恒信
和歌山縣體育協會	前川	重樹
松江體育協會	米田	勇次郎、松尾信行
廣島縣體育協會	山田	弘
高知縣體育協會	杉本	盛
德島水上競技聯盟	久保	義八郎
朝鮮體育協會	三嶋	清
山口縣體育協會	齋藤	巍洋
群馬縣體育協會	松澤	一鶴
日本學生水上競技聯盟	小山	賢之助

委任狀提出團體 (7)

宮城水泳協會	香川縣體育協會
岡山縣體育協會	愛媛縣體育協會
白杵體育協會	山形縣體育協會
富山縣水泳協會	

缺席團體 (6)

千葉縣水泳聯盟	長崎縣水泳協會
福岡水泳協會	熊本縣體育協會
臺灣體育協會	滿洲體育協會

議 事

1. 出席團體並に出席者點呼
2. 前回の議事録の確認の件承認
3. 報告事項

(イ) 指導資格者推薦に關する件 (松澤)

現在水泳指導資格證保持者は次の通りである。

- A 指導者資格試験合格に依るもの 211 名
- B 加盟團體の推薦に依るもの 69 名

前回の代議員會に於て理事會に附托されてゐる指導資格者推薦に關する件は最近その手續を進め各加盟團體に適格者の推薦を乞ふはこびとなりたるに付き、その適格者の説明あり御協力をお願いする。

(ロ) 公認期間満了後の公認プール再公認申請に關する件 (石本)

公認プール中公認期間満了のものが澤山あるがそれらの公認再申請の必要性につき説明あり今シーズン前に公認再申請手續を取られる様、加盟團體、プール所有者、公認測量者の御協力を乞ふ旨話ありたり。

以上イ、ロ、二件に關しては至急各加盟團體並に關係當事者に依頼狀を送り、必要な手續を取りはこぼるゝ様お願いすることに決定す。

(ハ) 地方委員會設置に關する件 (松澤報告)

昭和 13 年度定例代議員會に於て可決されたる右の件は關係者諸氏とも懇談の結果聯盟特別委員の形式にて設置することとなり、

之に伴ひ別項の如く規約の一部を改正することとし今年度委員は本聯盟の理事會の承認を経て會長より左の如く指名ありたり。

名稱 關西地方委員會

委員長 高石勝男

委員 (○印常任委員)

大阪水泳協會

○高石勝男 ○大谷親之助 ○上野克己

○西尾太一 ○尾崎武郎 安藤秀信

木下善一 仁田順三郎 菅谷初穂

京都水上競技聯盟

○安養寺顯三 入谷唯一郎 松本治一

兵庫縣體育協會

○石田恒信 ○宅本伯夫

和歌山縣體育協會

○貴志重雄

關西學生水上競技聯盟

○村上弘 高橋秀美 河原田巖

圓尾誠志

4. バタフライに関する件 (田畑、野田)

近頃平泳の第一線選手の意見としてバタフライを制限する聲が高まりつゝあるので、NSRでは、近いうちに各方面の意見を綜合する爲に研究會を開く豫定である。若し、その會の結論が、現今の競泳規則を改變するやうな事になつた場合には、その爲に代議會を開くことなしに、右に必要な改正を行ひ得るやうにすること (可決)

之について、競泳委員會を開催し、又一方現在第1線の平泳選手 (小池君、葉室君、山田君、大浦君等) とコーチ松澤、齋藤君をも加へて對論することとなる。

5. 本年度外國選手招聘に関する件 (報告)

米國選手招聘に関しては未だ確答がないが之に對しては目下鋭意盡力中である。

もし之が實現しない時は獨逸選手を4、5名、日本選手權大會に招聘する準備をする事。

6. 昭和14年度競技日程に関する件 (可決)

(イ) 明治神宮大會

本年よりは厚生省に移管されて、大々的に行はるゝ豫定であるから、NSRとしては之を7月30日明治天皇祭を忠として舉行し、その内容として各地方選手權大會兼日本選手權大會豫選會

青年團競技

海軍三鎮宇府對抗競技

三地方中等學校選手權大會

各地方女子中等學校大會

第2回團體長距離競泳全國大會

日本泳法演技

等中より實施し得るものを撰擇し、全國一齊に大會を舉行し11月3日明治節を中心とした明治神宮體育大會には他の競技團體に呼應して室内水泳大會を開催し一流選手を總動員して團體競泳、水球競技飛込競技を行ふと云ふ案を決定す。

而しその實施具體案は本聯盟内に作られる神宮大會準備委員會と主催團體たる厚生省並に關係方面と協議の上正式決定することとする。

(ロ) 日本中等學校選手權大會

三地方中等學校選手權大會兼豫選會を7月30日中心に舉行し、本大會を8月5、6兩日關西甲子園プールで舉行すること。

(ハ) 日本選手權大會兼オリムピック第2次豫選會

8月14、5、6日又は13、4、5日に神宮プールにて舉行すること。

(ニ) 外國選手來朝の場合は8月19、20日頃甲子園プールにて國際水泳大會を開催すること。

(ホ) 日本女子中等學校選手權大會

8月第4、土曜、日曜 (26、7日) に甲子園プールにて舉行すること。

(ヘ) 學童ラヂオ水泳大會、全國實業團選手權大會の開催に付いては理事長に一任のこと。

米外國選手來朝の場合は名古屋に於ても競技會の開催を考慮されたとし齋藤代議員より申出あり、選手の都合出来る限り名古屋は勿論各地方の御希望に添ふ様取りはからふこととする。

7. 日本水上競技聯盟規約の一部改正に関する件

(イ) 理事長設置に関する件

末弘會長並に野田名譽主事よりその必要な理由の説明あり、その結果末弘會長が大日本體育協會理事長就任中會長の常務を代行する理事長を設置することに決定す。従つて之に關聯する本聯盟規約の一部を左記の通り改正することに決定す。

第9條へ左記三項を追加す。

會長に於て必要と認めたる時は理事長を置くことを得。

理事長は本聯盟の役員中より會長之を指名す。

理事長は會長の常務を代行す。

第16條第2項を名譽主事は會長 (理事長を置きたる時は理事長) を補佐し以下従前

通りとす。

末弘會長の指名により本聯盟評議員田畑政治氏理事長に就任す。

(口) 地方委員會設置に関する規約改正の件
左記の通り決定す。

第8條 特別委員の後に左の項を加ふ。

地方委員 若干名 内1名を委員長とす。

第13條 未項の後に次の項を加ふること
"地方委員會は會長に於て本聯盟の事業遂行上一定の加盟團體聯合して之に當る要ありと認むる地域に之を設置し細則に定むる所に従ひてその任務を行ふ"

聯盟規約細則の「三」に左の規則を加ふ。

關西地方委員會規則

1. 本委員會は關西地方に於ける本聯盟事業遂行の爲之を設く。
2. 本委員會に関する加盟團體次の如し。
大阪水泳協會、京都水上競技聯盟、兵庫縣體育協會、和歌山縣體育協會、

關西學生水上競技聯盟

3. 本委員會は任務遂行上委員中より常任委員若干名を互選す。
4. 本委員會は聯盟規約第13條に定むる役員の外評議員・關係團體代議員、日本學生水上競技聯盟會長、名譽主事、名譽會計を出席せしむることを得。
8. 候補選手合同練習の件
オリンピック候補選手の春季練習に關しては理事長に一任と選定。
9. 公認測量者の件
大阪水泳協會所屬公認測量者池田角太郎氏の公認測量資格を取消すことに決定。
10. 故岩切盛行記念トロフィーの件
昨年8月中支那戰線に於て名譽の戰死をとげられし故陸軍歩兵中尉岩切盛行氏の御尊父よりトロフィー寄贈の申出ありあるに付き故岩切盛行記念トロフィーを作製することとし、日本選手權大會男子高飛込の優勝杯とすることに決定す

聯盟議事録

理事會 8月11日 於事務所

全日本選手權大會と同時に舉行すべき代議員會につき種々協議す。

理事會 8月31日 於事務所

明年度の日米對抗競技の交渉方針につき協議す。

常務理事會 9月21日 於事務所

1. 各委員長及理事下記之如く原案を決定す()
前任者

- | | |
|------------|-------------|
| A 競泳競技委員長 | 松浦武雄 |
| 飛込競技委員長 | 原秀夫(島崎保正) |
| 水球競技委員長 | 笹島彦次郎(岡田辰雄) |
| 記録委員長 | 穴道洋一(藤原豊) |
| 女子部委員長 | 磯野百男(白山廣子) |
| 外國關係委員長 | 安部輝太郎 |
| 指導普及委員長 | 石本己四雄 |
| 指導者檢定委員主任 | 松澤一鶴 |
| 指導者講習會委員主任 | 松澤一鶴 |
| 青年團委員主任 | 小山賢之助 |
| 小學校委員主任 | 渡邊寛二郎(根來幸成) |
| 建設測定委員長 | 石本己四雄 |
| 醫事部委員長 | 笹島彦次郎 |

B 各理事 (○新理事)

- | | |
|--------|--------|
| 保谷俊平 | ○高橋庄之助 |
| ○小林高志 | 磯野百男 |
| ○渡邊寛二郎 | ○遊佐正憲 |
| 白山源三郎 | 岡田辰雄 |
| 齊藤亨 | 山本操 |
| ○池谷茂 | 服部崎市 |
| ○齋藤劍次 | 安養寺顯三 |
| 高石勝男 | ○村上弘 |
| ○貴志重雄 | ○石田恒信 |
| ○齋藤巍洋 | ○下山美德 |
| 藤田明 | 小山賢之助 |
2. 公認測量者1名公認ノ件承認
第20 石川體育協會 小林庄平
 3. 飛込合宿及合同練習承認
期間 9月22日……28日迄1週間
場所 東伏見プール
男 6人 監督 高橋庄之助
女 4人 原 酉三
- 理事會 (石本己四雄氏歡迎會、新理事初會合會)
11月12日 於丸ノ内 中央亭

1. 今夏 1000 米及 1500 米自由形に於て世界新記録樹立した日大天野選手に對し世界記録章及同メタル授與す。
2. 常務理事を會長より下記の通り指名す。
藤田明、小山賢之助、松浦武雄、磯野百男、原秀夫、渡邊寛二郎、笹島彦次郎、宍道洋一、小林三次、保谷俊平、齋藤巍洋
3. 次の一プールを公認す。

藤枝高女プール 25 米 公認 88 號

理事會 12 月 10 日 於丸ノ内 中央亭

1. 今回渡比する日本大學水泳部の葉室、佐々木、谷口、天野、四選手の壯行會を行ふ。
2. 關西地方委員會原案承認
3. 沼津中學校プール再公認 (17 號)
4. 公認期間滿了後再申請なき公認プールの取扱ひについて地方加盟團體と所有者の相方に再申請を爲すべき督促狀を發送する事。

常務理事會 昭和 14 年 1 月 11 日 於事務所

1. 岩切盛行君 (飛込委員戰死) の記念牌ノ件
2. 神宮競技大會ノ件
7 月 30 日の明治天皇祭を中心に各競技を全國一齊に舉行すること。
11 月 3 日の神宮體育大會の時には室内水泳大會を開催すること。
3. 1 月 18 日夜下記議題により中央亭本店に於て臨時代議員會を開催すること。
A 日本水上競技聯盟規約之一部改正に關する件
B 昭和 14 年度競技日程に關する件

- C 本年度外國選手招聘に關する件
- D 競泳規則一部改正に關する件
- E 指導者推薦に關する件
- F 其他

4. 右に關し石本評議員とも懇談すること。

常務理事會 2 月 16 日 於事務所

1. 明治神宮大會並に學童ラヂオ水泳大會の件
田畑理事長より厚生省との交渉經過報告、並に學童ラヂオ水泳大會に關し、文部省及關係者との交渉經過報告あり、後之について意見を交換す。
2. 岩切記念トロフィーの件
楯を作製することとしそれにきざむ文字を陸軍大臣に書いてもらふことを田畑理事長に一任す
3. 評議員推薦の件
高松定一 (東海學聯會長)
(九州學聯會長)
齋藤亨 (前理事) 本田、(指導普及委員)
原正一 (同右) 佐々木救 (同右) 服部崎市 (名古屋水上競技聯盟會長) 高石勝男 (關西地方委員會委員長)
4. 加盟團體の會長 (又は部長) 主事の氏名、住所の申請を求めること。
5. 次の三プールを公認す。
日光金谷プール 25 米 公認 90 號
東山中學校プール 25 米 公認 91 號
宇和島中學校プール 25 米 公認 92 號

聯 盟 日 誌

12 月 21 日 評議員の會合 京 橋 井 上
28 日 事務所閉む

昭和 14 年
1 月 6 日 事務所開く
11 日 常務理事會 事 務 所
14 日 臨時代議員會打合會 事 務 所
18 日 臨時代議員會 丸ノ内中央亭
19 日 水球競技委員會 事 務 所
20 日 飛込競技委員會 事 務 所
競泳池公認委員會 事 務 所
21 日 指導普及委員會 事 務 所
23 日 小學校委員會 事 務 所
24 日 學聯水球委員會 事 務 所

25 日 競泳競技委員會 事 務 所
故飯田光右太郎氏遺兒教育資金募集會打合會 事 務 所
26 日 記録委員會 事 務 所
28 日 建設測定委員會 事 務 所
30 日 故岩切氏座談會 日比谷杉本樓
31 日 厚生省へ獎勵金下附願提出

2 月 2 日 女子部委員會 事 務 所
3 日 ハワイ日布時事社ヨリ日布濠三國對抗水上競技大會 (日本側監督選手 5 名) = 招聘電報來ル
學聯實行委員會 事 務 所
4 日 學聯總務委員會 朝日新聞社

6日 競泳練習座談會 幸 樂
 8日 學聯ハワイ遠征諾否協議會 事 務 所
 評議員の會合 幸 樂
 9日 正午 田畑、野田、藤田、大橋、齋藤、氏等
 事務所ニテ要談
 10日 學聯飛込競技委員會 事 務 所
 14日 小學校委員會 事 務 所
 15日 女子部小委員會 事 務 所

16日 常務理事會 事 務 所
 17日 ハワイよりの招待に對し辭退狀を發送す
 22日 故飯田氏募金實行委員會 事 務 所
 24日 小學校委員會 事 務 所
 25日 學聯實行委員會 事 務 所
 17日 米國キツパス宛米選手招聘に關し打電
 18日 キツパス氏より返電あり

編 輯 後 記

本年も三月上旬を期し雑誌水泳第六十三號の發刊を見る事となつた。顧る昨年七月厚生省會議でオリンピック東京大會返上が決定し、一時は總ゆる競技者達の失望をも見た、移り行くものは只時のみならず、文化も社會も永劫に流れて止まぬ時の潮の中に變轉しそして隆替する。然し乍ら其後に於て一般體位向上が叫ばれ、建設される今日、當聯盟も其彌に添ふと同時にヘルシンキにも大なる希望を持ち進んで行かふ。

× × ×

オリンピック前年の今夏、日米對抗競技大會を行ふべく、昨年末より交渉中の所最近アメリカ側の謝絶により中止する事に決定し、一方我盟邦獨逸の競泳界も擡頭し來り此程其内最優秀選手六名を招待し日本選手權大會に之を加へ行ふべく目下當聯盟外國關係委員によつて奔走中である。即ち自由型に於けるフィツシャー、プラート、背泳のシュラース平泳は、オードルフ、バルケ、飛込のバイス等である。

曩に南の國比律賓カーニバルに征矢として、我水泳界のホープ日本大學水泳部の葉室、佐々木、天野谷口四君の歸朝土産話、日記は親しく本誌を通じ皆様の許へ、來るヘルシンキ大會への第一段階を比島に、然も彼地の我水泳日本に對する關心を新たにせしめ、一方、四君の他國遠征に來る體の變調を充分警戒され、我水泳界の爲益々精進努力されん事を誌上を通じ御願ひすると同時に寄稿に對し御禮申上げます。

× × ×

水球座談會の記事は、第一線の現役選手と且ての花形たりし人々の貴重なる體驗談、水球記事、最近のヒットで、次號掲載豫定の競泳座談會と共に編輯子の大に鼻高き所、小山氏の日本選手權觀戰記は掲載がおくれて甚だ申譯なき次第であるが、興味津々たるその記事は、小山氏獨特の筆法である。次號は異色を盛つて四月早々發刊したいと一同丸ビルの事務所までハリきつて居る次第です。

日本水上競技
聯盟機關雜誌

水 泳

第 63 號

昭和十四年三月十日納本
昭和十四年三月十三日發行

(日本水上競技聯盟代表)

編輯兼發行人 矢 道 洋 一
 印刷人 米 田 眞 二
 印刷所 改 洋 社
 東京市豊島區巢鴨1丁目3番地

定價30錢 年8回發行豫定・8回分 ¥2.40

豫約申込者に限り頒布す(1年前金豫約は送料不要)

廣告料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581
 申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所
 振替口座東京三九九一九番